2011年度
プラン・ジャパン 年次報告書

Annual Report 2011

2010/7～2011/6

子どもと築く、未来のしくみ

Plan
プラン・ジャパン

2012年1月発行　発行：公益財団法人プラン・ジャパン

支援者の皆さまへのご挨拶

プラン・ジャパンにとって、歴史に残る1年を越えて

東日本大震災で亡くなられた方々に深い哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

公益認定の取得から公益財団法人への移行、そして3月の震災を受けた、国際NGOプラン史上初めてとなる先進国日本における緊急・復興支援の実施など、2011年度はプラン・ジャパンの歴史に残る1年となりました。この間、私どもは代表理事として、新たな組織体制のもと、皆さまからさらに信頼、支援される機動力を持った組織づくりに専念してまいりました。また震災支援におきましては、プランが途上国での活動の中核としてきた「子どもとともに進める」支援を推進。未来へつながる成果を東北の地に残しつつある姿に、プランの支援のあり方の確かさを改めて実感いたしました。

かつてナンバー・ワンのODA(政府開発援助)供与国だった日本は、今回の震災に際し、世界各国からの友情と支援を得て、ナンバー・ワンの援助受取国となりました。一方、世界の「格差」、「貧困」はまだ解決への長い道の途上であり、ミレニアム開発目標(MDGs)の達成にも引き続きの努力が必要です。役職員一同、この事実を重く受け止め、累積する課題に挑み、震災支援での経験を生かしながら、途上国支援に今一層精力を注いでいく所存です。

皆さまには、引き続きのご支援に改めて心よりの感謝を申し上げますとともに、本年次報告書を通じ、ぜひ支援の成果をご確認賜われば幸いに存じます。

理事長　川上 隆朗
専務理事　鶴見 和雄

新たな出発、そして日本と世界を元気にしよう

私たちは2011年2月1日付で公益財団法人プラン・ジャパンとして新たな出発をしました。その後間もなく起きた東日本震災に対し、国内で初の支援活動を開始して以来、皆さまより有形無形の多大な支援をいただいたことにつきまして、心から感謝を申し上げます。

この度の大震災によって、災害に強いコミュニティを作ることの重要性が改めてクローズアップされました。特に、開発途上国で頻発する災害時には、子どもたちは不利な立場に置かれがちです。私たちはこの度の経験を途上国の地域開発や災害対策に生かし、子どもたちが本来持っている可能性を十分に伸ばしていける環境作りへの支援を強化していきます。

震災後、途上国向け支援が一時低下する現象もみられますが、今後は私たちが世界中から受けた支援や励ましに感謝し、お返しをしていく。つまり助け合うという自然な関係を通じて、日本と世界がともに元気になるようになればと思います。公益法人として今後も透明性向上と効率的な運営に努めていく所存ですので、どうか引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事務局長　佐藤活朗

CONTENTS

2 支援者の皆さまへのご挨拶
3 東日本大震災支援対策室より支援者の皆さまへ
4 プラン・ジャパンの一年
5 プランの世界での一年
6 プラン・スポンサーシップ報告
7 アジア
10 中南米
13 アフリカ
19 プラン・マンスリー・サポーター報告
20 プラン一般プロジェクト報告
プラン特別プロジェクト報告
補助金によるプロジェクト報告
22 緊急・復興支援報告(海外・東日本大震災)
23 活動国の基本統計一覧
24 2011年度 財団法人日本フォスター・プラン協会 決算報告
2011年度 公益財団法人プラン・ジャパン 決算報告
26 プラン・ジャパン事業費一覧
28 2011年度 プラン 国際連結 決算報告
30 さまざまな形の企業支援
31 全国にある「プラン支援者の会」

東日本大震災支援対策室より支援者の皆さまへ

2011年3月11日に発生した東日本大震災。この未曾有の事態に際し、プラン・ジャパンでは日本国内で初となる緊急・復興支援を決定。仙台市内に開設した「東日本大震災支援対策室」を拠点に支援活動を行ってまいりました。震災発生当初から現地に駐在する室長の膳より、活動を通しての思いをお伝えします。

膳 三絵
東日本大震災支援対策室(Tohoku Emergency Response Unit = TERU)室長
3月25日の発足当時より室長を務める

先生、保護者、子どもたち、地域の人々とともに進める支援の歩み

2011年3月27日、4トントラック2台分の緊急支援物資を持って訪れた石巻市と多賀城市。そこで見たのは凄まじい被災状況と、避難所となっていた学校で運営に忙殺される、校長をはじめとする先生方の姿でした。先生方は自身も被災されているにも関わらず、避難者のお世話から支援物資・ボランティアの受け入れまで、先頭に立って働いていらっしゃいました。その後「子どものためのスペース」の設置、学校再開のための学用品配布などの活動を進めるうち、改めて先生方がいかに「頑張って」こられたかということを思い知るに至りました。

プラン・ジャパンは支援プログラムの柱に、「子どもの心のケア支援」を掲げています。このプログラムでは、いつも子どもたちと接している「頑張る」先生方や保護者へのケアがとても大切であるとの考えをもとにしています。幸い、同じ考えを持つ臨床心理士や学校心理士、臨床発達心理士の方々と巡り会え、これまでに約40回にわたり、ワークショップや講演会を開催。2,300人以上の先生や保護者と震災後の子どもたちの心の状況について一緒に考え、自身のセルフケアやリラクゼーションの重要性について語り合うことができました。

また5年後、10年後の地域の未来を担う子どもたちの声を聞き、ともに考える活動も行っています。宮城県内の3つの小・中学校で実施した「子どもメディア・プロジェクト」では、被災地の子どもとしての意見や声を、自身で撮影した写真や映像作品を通して発信。防災や復興について考え、発表したこの経験は、きっと彼らの将来や地域の未来に生かされていくことと思います。

継続的に関わることで人と人の繋がりを作り、そこから生まれた信頼や協力をもとに、子どもたちや人々の自律的な回復を促す。そんなプランの支援の形が、ここ東北でも生かされ、復興への底力になっていると実感しています。皆さまから寄せられた多くの支援と期待を胸に、当地の人々とともにプロジェクトを継続していきたい。与えられた使命をまっとうしたいと考えています。

東日本大震災支援対策室所属メンバー

山形 文
2011年3月から8月まで所属。緊急支援物資配布、学校再開に向けての支援などを担当

番場 慎也
2011年3月より所属。子どものためのスペースの運営、学校再開に向けての支援などを担当

後藤 亮
2011年3月より所属。被災地における心のケア支援、主に「ケア・宮城」*1との連携を担当

船越 美奈
2011年4月より所属。広報、イベント企画・運営などを担当

大谷 美保
2011年5月より所属。子どもメディア・プロジェクト、子どものためのスペースの設置を担当

楠 祐子
2011年8月より所属。被災地における心のケア支援、主に「みんなで笑顔! プロジェクト」*2を担当

マルグリット・ブラウ
オランダ人医師。2011年8月より所属。被災地における心のケア支援プログラムのアドバイザー

フェティ・ザクラ
インドネシア人心理士。2011年8月より所属。被災地における心のケア支援プログラムのアドバイザー

高橋 祥江
宮城県多賀城市在住。2011年4月より所属。避難所・仮設住宅における子どものためのスペースを運営

三浦 圭一
宮城県仙台市在住。2011年7月より所属。各プロジェクトの実施をサポート

新野 佳世
宮城県仙台市在住。2011年8月より所属。通訳、主に「みんなで笑顔! プロジェクト」をサポート

＊1
宮城県内の心理士会の有志で構成されたチーム。教員向けの心のケアのためのワークショップなどを開催

＊2
子ども向けコンサートなどに、教員・保護者向け心のケアワークショップなどを組み合わせた参加型イベント

活動報告についてはP22をご確認ください

プラン・ジャパンの一年

公益財団法人化、団体名称の変更、東日本大震災緊急・復興支援の実施など、記憶に残る出来事が重なった年度に

2011年度は、財団法人日本フォスター・プラン協会から「公益財団法人プラン・ジャパン」に法人格、団体名称が移行。新たな出発を果たすという、記念すべき年度となりました。また移行直後の3月には、東日本大震災が発生。その未曾有の災害を前に、国内初となる緊急支援を決定し、これまで被災地の子どもたちのためにさまざまな活動を行ってきました。

継続的な活動も活発に実施。3年目を迎えたキャンペーン「Because I am a Girl 途上国の女の子に笑顔を!」は、今年度もイベントや上映会を多数開催。今年度も多くの方にご参加いただき、キャンペーンへの賛同を得ることができました。

国内決算の概要

※詳細についてはP24をご確認ください

2011年6月30日現在

当期収入内訳：合計 3,456,859,068円

※当期収入（P25・表「正味財産増減前年度・予算対比」のⒶ参照）

経常費用内訳：合計 3,351,874,834円

※当期収入合計を100%とした比率です

国内運営費内訳：合計 719,114,485円

※国内運営費合計を100%とした比率です

国内運営費内訳の説明
人件費 職員給与、通勤費、翻訳料、社会保険料など　広告・広報費 広告掲載料、製作費、イベント実施費など　事務費 郵送料、印刷代（パンフレット製作費、機関誌製作費）、電話代、振込料金など　施設費 事務所賃貸料、水道光熱費、リース料など　諸雑費 火災保険料、書籍代、会費など

数字で見る一年

2011年6月30日現在

スポンサー	44,729人
チャイルド	47,574人
年間に発送されたスポンサーからチャイルドへの手紙やギフト	36,631通
年間に受け取ったチャイルドからスポンサーへの手紙	80,772通
日本のスポンサーをもつチャイルドのうち、手紙やギフトを年間で1回以上受け取った率	36.4%
登録終了したチャイルド（卒業年齢、地域からのプランの撤退などの理由による）	7,242人
プラン・マンスリー・サポーター	16,493人
プラン一般プロジェクトによせられた支援	7,778件

プラン特別プロジェクトによせられた支援		58件
	企業・団体	28件
	個人	30件
補助金による支援		3件
緊急・復興支援によせられた支援		8,337件
	海外	4,513件
	国内	3,824件
修学旅行などで事務局を訪問した学生		17校、235人
講師派遣		20件、対象2,144人
プラン支援者の会の開催		54回
職員（常勤役員除く）		64人
来局ボランティア		50人
翻訳ボランティア		922人

一年のできごと

2010年 **11月6日・7日・14日**　「バングラデシュ活動報告会&写真展～ストリート・チルドレンが写した“わたしたちの生活”～」を東京・名古屋・大阪で開催

2011年 **2月1日**　法人格、団体名称を移行。「公益財団法人プラン・ジャパン」に

2011年 **2月27日**　シンポジウム「Invest in Me ～女の子の教育が途上国を変える」を開催

3月15日　東日本大震災緊急支援を開始

5月28日　仙台市内にて子ども支援フォーラム「震災後の子ども支援 ～今 そして これから～」を開催

プランの世界での一年

実施中のキャンペーン、プロジェクトは順調に進展 また新たに、世界的な活動もスタート

2011年度、もっとも特徴的な動きとなったのが、9月にイギリスで開催された「第1回 グローバル・リーダーシップ会議」。「One Plan One Goal」をテーマに、全活動国、全支援国の代表が一堂に会したこの会議は、プランとしての共通意識の推進や国や地域を超えた知見、情報の共有化などを目的としたもの。より効果的な地域開発のため、2015年まで毎年話し合いを重ね、目標達成に向け活動していきます。また、「Because I am a Girl」を含むプランの3大キャンペーンも順調に推移。「東日本大震災」を機に、世界的にも重要性が再認識された防災教育についても、各国で拡大展開されるなど、多くの活動がさらなる前進を遂げた一年となりました。

国際連結決算の概要

※詳細についてはP28をご確認ください

2011年6月30日現在

収入内訳：合計 591,418,000ユーロ

支出内訳：合計 561,219,000ユーロ

※収入合計を100%とした比率です

※1ユーロは115円です

数字で見る一年

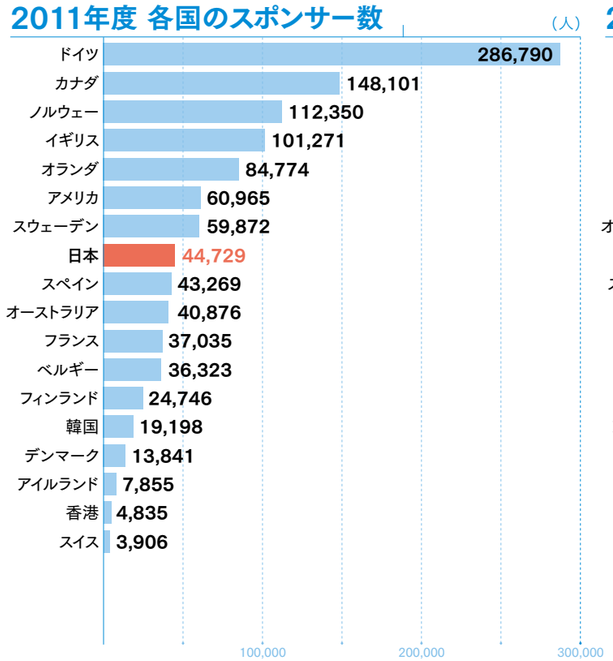
2011年6月30日現在

スポンサー		1,130,736人
チャイルド		1,526,616人
	女の子	918,570人
	男の子	608,046人
活動国		48カ国
活動地域		242地域
活動しているコミュニティ		58,053コミュニティ

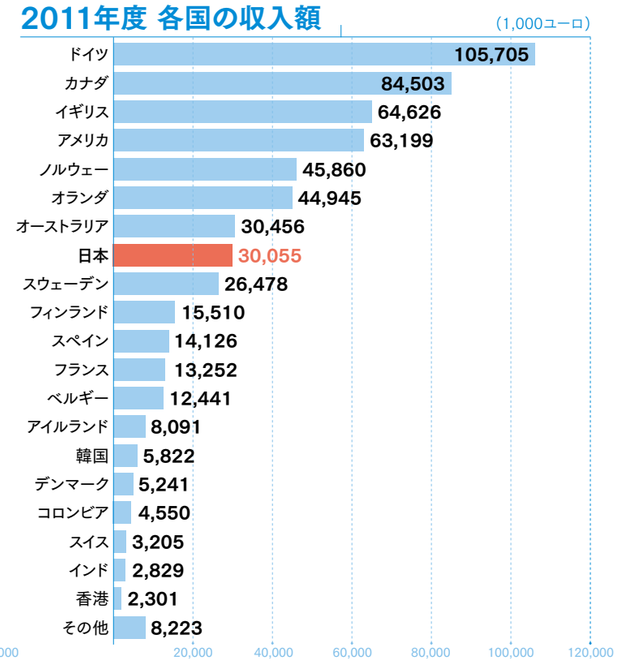
年間に行ったプログラム*1	243件
年間に行ったプロジェクト*2	6,932件
登録終了したチャイルド	161,965人
職員	8,707人

＊1 プログラムとは、各国が長期的視野（平均5年）のもとに計画・実施する事業の大枠です。1つのプログラムの中で、複数のプロジェクトが実施されます
＊2 各プロジェクトの規模には大きな違いがあり、件数だけで活動全体の規模をはかることはできません。この件数はあくまで参考です

2011年度 各国のスポンサー数



2011年度 各国の収入額



プラン・スポンサーシップ報告

ここでは、プラン・スポンサーシップの収入による活動を活動国別にご報告します。
皆さまからいただいた寄付は、世界中のスポンサーからの寄付とともに、48の国々での地域開発に充てられました。
※子どもの名前はプライバシー保護のために仮名にしている場合があります

アジア ASIA

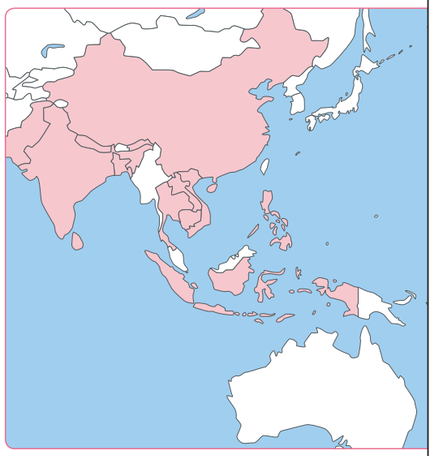
P7-P9

アジア13カ国で活動

グローバル化の中で貿易や投資、人的交流が活発化。経済力を増しつつある一方、貧困層が世界でもっとも集中する東南・南アジアを有する地域でもあるアジア。10億人以上の人々が1日2米ドル以下の生活を強いられており、教育や保健衛生の充実、子どもの権利の実現からは程遠い状況にあります。また頻発する自然災害が、子どもたちをさらに弱い立場に追い込んでいます。

優先的に取り組む分野

- 子どもたちの就学支援
- 保健医療サービスの拡充と病気の予防
- 食糧の安定供給と持続可能な農業技術の導入
- マイクロ・ファイナンス（小規模金融）の支援と雇用可能な職業技術訓練の実施
- 災害リスク軽減プロジェクト



中南米 LATIN AMERICA

P10-P12

中南米12カ国で活動

教育・保健などの分野で大きな改善が見られる一方、急激に進んだ都市化により地域、民族、性別の違いによる貧富の差が拡大。これに不満を持つ武装勢力による暴力の横行、麻薬組織の動きの活発化が深刻な問題となっています。また古くからの慣習により、弱い立場に置かれている女性や子どもの権利の実現や、頻発する自然災害への備えも急がれています。

優先的に取り組む分野

- 女性と子どもの権利の保護と参加の促進
- 家計の安定のためのマイクロ・ファイナンス（小規模金融）の普及
- 学校運営の強化と質の高い教育の確保
- 性と生殖に関する健康とその教育の普及
- 災害リスク軽減プロジェクト

アフリカ AFRICA

P13-P18

アフリカ23カ国で活動

世界的な景気後退から回復しつつあり、2011年の成長率は52%に達する見込みのアフリカ大陸。しかしながら、深刻さを増す食糧不足や、一部地域における不安定な政治情勢など、今後の開発を大きく左右する問題も複数存在しています。北東部（アフリカの角）地域で発生した過去60年で最大とされる大規模な干ばつでは、約1,240万人が支援を必要としています。

優先的に取り組む分野

- 母子を対象とした栄養状態と医療サービスの改善
- 教育機会の拡大と質の向上
- 女性と子どもの権利や保護に対する意識啓発
- マラリアやHIVの予防、HIV/エイズとともに生きる人々への支援

タイ THAILAND

Project
DNA鑑定による国籍取得

タイ国内には何万人もの無国籍者が暮らしています。その多くは、山岳部に暮らす少数民族です。彼らはタイで生まれたにもかかわらず、その証拠となる書類がないため、タイ人としての地位や市民権が与えられていません。その結果、選挙権や土地の所有権がなく、国の医療や教育サービスの対象外とされています。また、移動も厳しく制限されており、県外へ移動するにも政府の許可が必要なうえ、高額な費用を負担しなければなりません。プランは、国籍のない子どもたちの権利の実現に向け、2015年までに、チェンマイとチェンライにおいて約3万5,000人の国籍取得と生まれてくる子どもたちの出生登録を推進するプロジェクトを開始しました。

タイの身分証明書を手にするジョーさん

国籍を取得するためには出生登録証の提出が必要ですが、出生登録証を持たない子どもの場合には、DNA鑑定が有効です。DNA鑑定でタイ国籍を持つ両親や親類との血縁関係が証明されれば、子どもにも国籍が付与されるのです。プランは、内務省地方行政局やチェンマイ病院と連携してDNA検査の推進や申請書類の作成を補助。これまでに5,013人の子どもたちが国籍を取得することができました。

参加者の声

ジョーさん（17歳）
「プランがDNA検査のリストに僕の名前を載せてくれた時、『これで生まれ変われる』という思いでとても興奮しました。10年以上夢見てきたタイの市民権を手に入れた今、友だちの誘いを断ることもなくどこへでも自由に行くことができますし、奨学金も申請できます。私はもう正式なタイ人なのですから」

パキスタン PAKISTAN

Project
非公式学級による女子教育の推進

イスラム教の国パキスタンでは、経済的な理由から多くの女の子が小学校を中退したり、中等教育への進学を断念せざるをえない状況に置かれており、男女の就学率に開きがあります。このような問題に対して、プランは女性フォーラムや教育委員会と連携しながら非公式学級を開設し、中途退学や未就学の女の子が無償で教育を受けられるように尽力しています。現在、23のコミュニティで25の非公式学級が開設され、パンジャーブ州ラホールでは、12〜14歳の参加者142人が小学校修了試験を受けることができました。

再び学び始めた女の子たち

首都イスラマバードのアリプールファラシュという町に住むナイラも、非公式学級の開始を心待ちにしている女の子の一人。彼女は父親が他界し家計が苦しくなったため、6年前に学校を辞めてしまいました。非公式学級が近所に開設されると聞き、すぐさま家族と話し合って参加を希望しました。

ナイラはこれからの2年間勉強に励み、中学校への入学許可の取得を目指します。ナイラのような女の子たちが一人でも多く就学・復学できるよう、プランは今後も積極的に女子教育の推進に取り組んでいきます。

参加者の声

ナイラさん（15歳）
「家の近くに非公式学級が開設され、再び勉強を続けられると聞いてびっくりしました。学校に戻りたいとずっと願っていたので、これからの授業が本当に楽しみで、今はうれしい気持ちでいっぱいです。この機会を最大限に生かして、たくさんの知識を身につけ、将来につなげていきたいと思います」

2010年7月1日～2011年6月30日

2011年度 プラン 国際連結決算報告

これらの決算報告は、国際監査法人プライスウォータハウスクーパーズの監査を受け、
各国のプランの理事からなるプランメンバーズ総会により承認された国際連結決算の抜粋です。
世界の皆さまからのご支援により、当期収入は5億9,141万ユーロとなり、
途上国の地域開発プロジェクトに4億1,766万ユーロを充てることができました。
※1ユーロは115円です（2011年6月30日現在）

収支計算書及び正味財産増減表

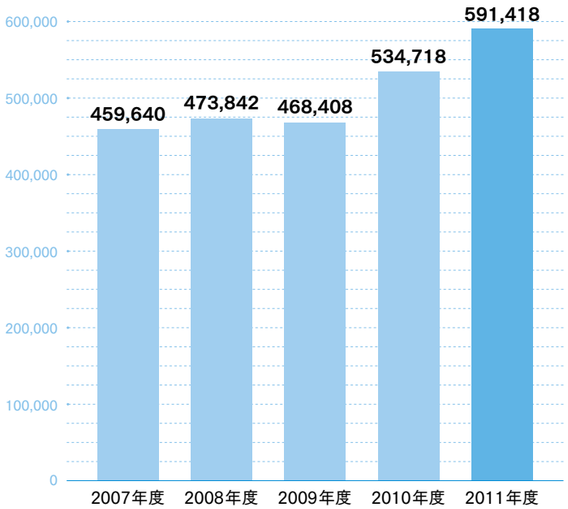
2009年7月1日～2011年6月30日（単位：1,000ユーロ）

科目	2011年度	2010年度
Ⅰ　収入		
1　スポンサーシップ寄付金	353,368	345,854
2　助成金収益・現物寄付	154,272	125,082
3　その他寄付金	77,366	58,125
4　利息収益等	6,412	5,657
当期収入合計	591,418	534,718
Ⅱ　支出		
1　プログラム費	417,665	366,800
2　広報費	73,707	61,787
3　管理費	49,583	43,102
4　収益事業費用	3,491	3,071
5　為替純損失	16,773	-19,209
当期支出合計	561,219	455,551
Ⅲ　正味財産の増減		
当期収支差額	30,199	79,167
先物ヘッジ取引及び有価証券の未実現（損）益	522	481
為替換算調整	-6,105	10,767
支援国増による正味財産増		569
当期正味財産増減額	24,616	90,984
前期末残高	266,240	175,256
当期末残高	290,856	266,240

収入額の推移

（単位：1,000ユーロ）

※2007年度のユーロ額は1ユーロ=1.29米ドルで計算



貸借対照表

（単位：1,000ユーロ）

科目	2011年6月30日現在	2010年6月30日現在
Ⅰ　資産の部		
1　流動資産		
現金及び現金同等物	245,513	242,427
有価証券	30,129	17,604
未収金及び預け金	22,632	17,894
前払費用	6,207	7,677
棚卸資産	11,066	267
流動資産合計	315,547	285,869
2　固定資産		
投資有価証券	5,888	7,205
有形・無形固定資産等	26,382	24,464
固定資産合計	32,270	31,669
資産合計	347,817	317,538
Ⅱ　負債の部		
1　流動負債		
当座借越	156	62
未払金・未払費用	39,513	35,386
流動負債合計	39,669	35,448
2　固定負債		
退職給付引当金等	17,292	15,847
固定負債合計	17,292	15,847
負債合計	56,961	51,295
Ⅲ　正味財産の部		
1　一般正味財産		
固定資産	25,430	23,646
売却可能有価証券評価（損）益	1,157	777
次年度実施プログラム充当資金	114,707	120,269
未収プロジェクト資金準備金	22,727	14,244
一般正味財産合計	164,021	158,936
2　一時的指定正味財産		
前受スポンサーシップ寄付金	15,644	15,530
指定寄付金	87,449	75,423
その他の指定正味財産	12,173	4,079
一時的指定正味財産合計	115,266	95,032
3　永久的指定正味財産		
永久的指定寄付金	9,318	9,788
基本金	2,251	2,484
永久的指定正味財産合計	11,569	12,272
正味財産合計	290,856	266,240
負債及び正味財産合計	347,817	317,535

プログラム費国別内訳

この表は監査を受けておりません

（単位：1,000ユーロ）

		保健	性と生殖に関する健康と権利	教育	水と衛生	家計の安定	子どもの保護	子どもの参加	緊急支援	プログラム共通費	スポンサーシップコミュニケーション	合計
アジア	バングラデシュ	1,971	149	918	376	359	453	347	228	1,603	222	6,625
	カンボジア	1,107	11	855	477	129	53	340	157	1,511	201	4,841
	中国	525	7	710	553	216	144	383	252	1,779	620	5,188
	インド	3,027	568	2,153	2,508	970	278	1,382	344	△ 5,341	714	6,605
	インドネシア	1,251	0	802	1,582	631	359	305	963	3,253	1,073	10,218
	ラオス	101	0	543	78	7	0	64	6	622	69	1,490
	ネパール	1,089	25	1,665	944	1,289	241	908	113	2,241	360	8,875
	パキスタン	514	107	1,992	996	1,377	64	268	9,927	1,734	310	17,289
	フィリピン	527	0	2,084	769	2,256	231	576	496	2,792	605	10,336
	スリランカ	544	0	680	853	274	59	304	193	1,583	224	4,715
	タイ	500	203	221	0	123	281	102	335	1,031	173	2,969
	東ティモール	0	0	342	317	185	18	34	8	644	166	1,714
	ベトナム	1,689	0	1,502	1,089	473	410	720	889	2,570	561	9,901
	地域統括事務所（タイ）	0	0	37	3	39	166	53	252	1,595	90	2,234
	アジア小計	**12,845**	**1,070**	**14,503**	**10,544**	**8,328**	**2,757**	**5,785**	**14,163**	**17,618**	**5,387**	**93,000**
中南米	ボリビア	1,015	22	982	930	275	101	733	167	3,576	498	8,301
	ブラジル	138	67	302	12	221	31	598	15	2,115	365	3,865
	コロンビア	3,350	16	2,530	694	342	59	1,974	514	5,433	574	15,488
	ドミニカ共和国	358	33	253	△ 8	423	193	890	821	1,752	533	5,248
	エクアドル	386	1	1,791	684	419	20	1,465	13	3,769	922	9,470
	エルサルバドル	1,471	71	667	287	489	150	1,348	335	2,036	276	7,130
	グアテマラ	881	152	1,081	1,069	547	463	503	395	2,746	252	8,089
	ハイチ	2,457	66	2,207	787	685	59	921	3,588	8,583	425	19,776
	ホンジュラス	330	118	554	170	492	77	369	145	2,774	326	5,356
	ニカラグア	380	142	515	227	1,042	34	379	0	2,096	215	5,030
	パラグアイ	576	98	465	100	511	3	481	5	1,216	224	3,677
	ペルー	673	57	494	432	623	1	690	175	2,447	403	5,995
	地域統括事務所（パナマ）	13	11	24	0	43	24	190	98	2,840	57	3,298
	中南米小計	**12,028**	**854**	**11,865**	**5,385**	**6,111**	**1,215**	**10,541**	**6,272**	**41,383**	**5,069**	**100,721**
東南アフリカ	エジプト	273	24	184	175	380	283	956	10	3,073	663	6,020
	エチオピア	964	196	425	1,586	546	12	54	251	1,501	278	5,812
	ケニア	683	651	707	556	411	36	1,754	60	5,369	798	11,025
	マラウィ	650	112	358	449	69	0	764	5	2,093	297	4,796
	モザンビーク	104	2	429	21	81	17	117	8	1,022	155	1,957
	ルワンダ	1,487	0	368	26	431	7	84	0	838	123	3,362
	スーダン	451	37	1,358	214	781	171	293	1,893	2,778	484	8,460
	タンザニア	310	34	493	443	570	275	321	66	2,208	340	5,060
	ウガンダ	690	230	908	684	648	276	505	41	2,446	327	6,754
	ザンビア	572	19	180	559	867	332	234	0	3,100	433	6,296
	ジンバブエ	990	153	1,108	206	936	158	224	7,233	2,484	654	14,144
	地域統括事務所（ケニア）	0	0	1	24	73	9	133	1	1,945	278	2,463
	東南アフリカ小計	**7,173**	**1,457**	**6,518**	**4,940**	**5,794**	**1,576**	**5,438**	**9,568**	**28,855**	**4,830**	**76,149**
西アフリカ	ベナン	1,369	125	280	1,077	283	90	95	885	1,743	426	6,373
	ブルキナファソ	7,081	188	8,804	1,426	262	232	192	213	2,871	896	22,165
	カメルーン	1,302	0	1,091	649	73	26	788	404	2,381	472	7,185
	ガーナ	538	26	2,090	302	1,051	133	476	19	2,124	283	7,042
	ギニア	352	7	1,983	866	950	26	567	41	1,592	558	6,942
	ギニアビサウ	504	87	734	360	49	0	271	0	1,421	264	3,689
	リベリア	202	71	862	107	76	8	118	194	1,405	99	3,143
	マリ	392	359	560	316	147	36	60	64	1,692	408	4,032
	ニジェール	363	19	672	351	600	57	143	1,986	1,509	285	5,984
	セネガル	2,855	2	1,679	588	592	20	469	244	2,344	731	9,523
	シエラレオネ	2,763	11	1,014	779	232	5	361	10	2,230	178	7,583
	トーゴ	874	0	442	289	449	225	884	0	1,757	554	5,474
	地域統括事務所（セネガル）	0	0	77	779	165	35	724	32	1,733	205	3,751
	西アフリカ小計	**18,595**	**894**	**20,287**	**7,889**	**4,931**	**891**	**5,150**	**4,092**	**24,800**	**5,358**	**92,887**
	プログラム共通費の配賦	17,840	3,618	21,184	13,634	12,133	6,413	14,069	7,689	△ 112,657	14,539	△ 1,538
	Interact	0	2,800	0	0	0	0	0	0	0		2,800
	活動国合計	**68,481**	**10,693**	**74,357**	**42,391**	**37,297**	**12,852**	**40,982**	**41,783**	**0**	**35,183**	364,019
	国際本部/支援国	2,387	1,211	6,462	1,883	2,257	3,369	15,559	4,005	0	16,513	53,646
	合計	**70,868**	**11,904**	**80,819**	**44,274**	**39,554**	**16,221**	**56,541**	**45,788**	**0**	**51,696**	**417,665**

保健：予防接種、保健ボランティア育成、診療所の建設など
性と生殖に関する健康と権利：性教育の推進、HIV とエイズ予防、HIV 感染者やエイズ患者の支援など
教育：学校の建設、幼児教育の推進、教師トレーニングなど
水と衛生：給水設備の設置、衛生トレーニングなど
家計の安定：職業訓練、小規模金融など
子どもの保護：地域ボランティアの育成、出生登録など
子どもの参加：「子どもの権利」の啓発、子どもクラブの活動など
緊急支援：支援物資の配布、防災対策など
プログラム共通費：プログラム支援費、開発教育費など
スポンサーシップコミュニケーション：スポンサーシップの交流に関わる費用など

インド INDIA

Project | 算数まつりの開催

主な活動成果

- 算数まつりへの参加 … 16小学校、550人
- 良質な就学前教育の提供 … 32万5,820人

参加者の声

参加した7年生の少女

「これまでにいろんな算数まつりに参加しましたが、こんなおもしろいのは初めてです。たくさんの教材の揃ったこの催しは、飛びぬけて楽しいです」

生徒の学習意欲を促進する、教材を使った授業

インドネシア INDONESIA

Project | 学校での防災教育

主な活動成果

- 学校での防災教育 … 19村の小学校40校と保育所5カ所
- 災害支援対応スタッフの育成 … 23人

参加者の声

リナさん（乳幼児教育指導者）

「歌で防災を教えるのは素晴らしいアイデアです。子どもたちは、『地震がきたら、頭を守らないといけないよ』という学校で習った歌を、家に帰って家族に聞かせるでしょう」

地震を想定した避難訓練。机の下に隠れ、身を守ります

カンボジア CAMBODIA

Project | 魚の養殖による栄養と生計の向上

主な活動成果

- マイクロ・ファイナンス（小規模金融）… 4,607世帯
- 農業トレーニング … 1,480人

参加者の声

ソウ・ミンさん（村長）

「養殖は村によい影響を及ぼしました。発電機を借りる余裕がない世帯の存在や、今後新たに参加する世帯が多くなると、魚の餌の不足が予想されることなどが今後の課題です」

共同の養殖池の管理方法を説明するミンさん

スリランカ SRI LANKA

Project | 子どもの栄養改善

主な活動成果

- 公衆保健シンポジウムの開催 … 2カ所

参加者の声

栄養改善のためのシンポジウムに参加した母親

「長年の夢だった子どもの体重改善を成し遂げられて、うれしく思っています。今では身だしなみや人との関わり方にも変化が生まれ、学びへの意欲が増しました」

子どもとの毎日の様子を記した母親の日記

中国 CHINA

Project | コミュニティ主導の水と衛生管理

主な活動成果

- 世界手洗いの日への参加 … 児童・生徒1万8,059人
- 子ども向け健康キットの配布 … 2万セット

参加者の声

ジャンさん（小学6年生）

「臭くて気分が悪くなるので、以前はトイレに行くのが嫌いでした。でもトイレがきれいになった今は、前より少し長くいられます。新しく、設備の整ったトイレは、私たちには贅沢な気もします」

トイレとともに新設された洗面所で手を洗う小学生

ネパール NEPAL

Project | 家計の安定

主な活動成果

- 農業トレーニング … 3,164人
- 農作物の販売支援 … 生産者グループ146カ所

参加者の声

ジャムナさん（ビメスワル村、30歳）

「週に40kgのトマトを収穫して、市場でキロ当たり40ルピー（約39円）で売り、1カ月半で約9,600ルピー（約9,300円）を稼ぎました。村でトマトを栽培しているのは私だけです」

収穫したトマトを手にしたジャムナさん

バングラデシュ BANGLADESH

Project | 子どもの保護と参加

主な活動成果

- ストリート・チルドレンへの聞き取り調査 … 323人
- 子どもの保護グループへのトレーニング … 130人

参加者の声

カンチャンさん（子どもクラブに参加していた大学生）

「学校を中退した貧しい子どもでも、よい環境と組織的な支援があれば、人生で成功できることを経験から学びました。近い将来、夢が実現すると確信しています」

出生登録の必要性について話すカンチャンさん（一番右下）

東ティモール TIMOR LESTE

Project | 若者の社会参加

主な活動成果

- 若者によるラジオ番組放送 … 6村
- 若者への音楽制作トレーニング … 10グループ

参加者の声

ジャニオ・アルドラドさん（若者たちの相談員）

「ラジオだけでなく音楽を通しても、若者の声を聞いてください。この国の、特に地方の若者は、恥ずかしがり屋で自分の望みや思いを口に出せないからです」

自身もバンドマンとして活躍しているジャニオさん（右）

フィリピン THE PHILIPPINES

Project | 校内暴力の防止

主な活動成果

- 女性と子どもの保護グループによる救済活動 … 子ども330人、女性322人
- 子どもの保護訓練 … 19の専門家チーム

参加者の声

リサ・マエさん（ナランガサン高校、15歳）

「男子と女子のトイレが別々になり、とてもうれしく思っています。これでもう、壁いっぱいの落書きや男子からのいたずらなどの暴力に悩まされることはありません」

若者グループの手による校内暴力の防止を訴える壁画

ベトナム VIETNAM

Project | コミュニティにおける保健衛生指導

主な活動成果

- 親や保健員への意識啓発講習会 … 1,582回
- 妊婦への鉄剤支給と健康カウンセリング … 200人以上

参加者の声

A.R.さん（8年生）

「手洗いフェスティバルが、私の学校でも実現してうれしいです。もっと周りの人に呼びかけて、衛生習慣を改善していく責任が自分にはあると思いました」

新設された洗面所で、石鹸で手を洗う子ども

ラオス LAOS

Project | 寄宿舎の建設と子どもの保護

主な活動成果

- 寄宿舎の建設 … 6校
- 寄宿舎建設のための意見収集 … 生徒82人（男女半数ずつ）

参加者の声

チャンドラさん（ボケオ県の少数民族出身者）

「前は小さな小屋に生徒5人で住んでいました。夜は暗い灯油ランプを使って勉強し、寒風にも耐えるしかありませんでした。寄宿舎は暖かくて、安全です」

新しく出来た寄宿舎の前で。240人の生徒が利用しています

エルサルバドル EL SALVADOR

Project
農村部における収入創出機会の拡大

エルサルバドルの人口の59%を占めている30歳未満の若者たちには、働きがいのある仕事に就く機会が不足しています。国全体の失業率が7.2%であるのに対し、15〜19歳の若年失業率は12%、若者の不完全就業率は43%にのぼり(国連開発計画2010年)、また国中にはびこる暴力もこの問題に拍車を掛けています。特に農村部の人々は貧困から抜け出すことができず、子どもの就学年数は4〜5年にとどまっています。その結果、年間約9,000人の若者がより良い生活を求めて国外へ移住しており、彼らへの就業機会、教育を受ける機会を提供することが急務となっています。

陶芸に専念するシンディさん

プランは、農村部のカバーニャス県とクスカトラン県において、若者向け起業支援プログラムを開始しました。調理、陶芸、観光業、養蜂、洋裁などの技能訓練を受けた87人の若者のうち、50人が小規模な事業を立ち上げ、25人が雇用の機会を得ました。また、若者や女性で構成された7つの起業グループに商品改良や事業立ち上げ支援、約70人の女性に漁業や農業分野における新規事業に参加する機会を提供しました。さらに、提携団体と連携して、5県の40校に通う子どもたち約1万人に、実生活に必要とされる知識や技術についての講習を行いました。

参加者の声

シンディさん(若者組織の代表)
「地域開発や権利委員会に携わることで、自分自身をよく知ることができました。陶芸を学んだり、会社立ち上げに向けた実践的な課題が与えられたことは、素晴らしい経験となりました。そのうえ、小規模事業を拡大するための奨学金受給者に選ばれました。受給者の中で一番良い成績を収めるためにがんばります」

ブラジル BRAZIL

Project
校内暴力の防止

北部マラニョン州コド活動地域では、他州と同様、深刻な校内暴力が生徒の学習意欲や自尊心を低下させ、中途退学の大きな原因となっていました。しかしほとんどの学校には、暴力をなくすための効果的な対策や体制が整っていませんでした。

平和のための教育プロジェクトの話し合いに参加する生徒たち

そこで、プランはコドとティンビラス両市の教育局や地元NGOと連携し、「平和のための教育プロジェクト」を展開。暴力やいじめの原因や、暴力がもたらす影響について考えるトレーニングを催しました。今年度は、延べ5,000人の生徒や親、教師、コミュニティ代表者たちが参加。生徒たちは、いじめ撲滅を訴える小冊子の配布、討論会の開催、演劇の上演などを通じて、友人や教師の意識啓発を図りました。また、各学校に教育相談員を配置し、生徒の日常生活を見守るようになりました。こうした取り組みの結果、学校環境は改善され、中途退学率は減少しました。

さらに、プランによる行政当局への提言活動が実を結び、両市では、マラニョン州で初となる「いじめ撲滅条例」が採択されました。この条例は、マラニョン州に暮らす200万人の子どもたちに大きな安心をもたらしています。

参加者の声

マリア・ロセリデ・デ・オリヴェイラさん
(コド活動地域の教育相談員)
「以前は、多くの生徒が学校に凶器を持参するような状況でした。けれども、プロジェクトによって大きな変化が生じました。生徒たちの振る舞いは改善され、家族が争いごとの解決に関わるようになったのです。おかげで、今学校にはかつてないほど平和な環境が生まれています」

グアテマラ GUATEMALA

Project
健康指導とHIVの感染予防

主な活動成果
- 健康や公衆衛生、性に関する授業 … 196校、1万2,386人
- 学校の衛生環境の改善 … 33校にトイレを新設
- 学校への手洗い用品の支給 … 1,180カ所
- 栄養不良改善のための母乳育児推進活動 … 6病院

参加者の声

ドナ・エミリア・コックさん(40歳)
「若者が妊娠や出産、HIVの感染予防について学び、知ることは、彼ら自身だけでなく、地域社会にとってとても大切なことです。自分の若い頃には、このような重要なことを知る機会はありませんでした」

HIV/エイズに関するワークショップでの様子

ハイチ HAITI

Project
青少年の生計向上

主な活動成果
- 手工芸品製作トレーニング … 50人
- 起業のためのビジネス・スキル研修 … 60時間
- 青年ボランティア向けリーダーシップ・トレーニング … 42人
- 衛生委員会の設立と訓練 … 255校、各校7〜8人

参加者の声

サビーネさん(11歳)
「プランの行っているプロジェクトの一環として、子どもにやさしいスペースでビーズ・ブレスレットの製作をしています。自分が作ったこのブレスレットがスペインで着用されていると思うと、とても誇らしいです」

若者の手によって、ひとつずつ丁寧に作られるブレスレット

パラグアイ PARAGUAY

Project
幼児の栄養改善

主な活動成果
- マイクロ・ファイナンス(小規模金融)の利用者 … 3万5,000人(うち女性が77%)
- 教師へのトレーニング … 29校、150人

参加者の声

マリアンさん(グループのメンバー)
「食品と栄養に関するトレーニングを受けた私たちは、家や農場で野菜を育て始めました。重要なことは栄養価が高く、健康的な食事を提供すること。3〜4種類しか知らなかった調理法も大幅に増え、家族も喜んでいます」

給食での提供を目指し、学校菜園でも野菜を栽培

ボリビア BOLIVIA

Project
若者参加型の地域統治

主な活動成果
- 若者へのリーダーシップ・トレーニング … 99人
- 体罰・いじめ・性的虐待のない学校推進キャンペーンの実施 … 16市町村、979校

参加者の声

マルセラさん(13歳)
「私の住むモトヴィ地区では、親から子どもへの虐待が日常的に行われています。しかし、地域の人は見掛けてもなにも言わず、また法的な機関にこの状況を訴えてもなにもしてくれません。早急に解決すべき問題だと思います」

アンケートを取り、若者たちの声を集めます

エクアドル ECUADOR

Project | **女性農業従事者への支援**

主な活動成果

- 村落貯蓄貸付組合への参加 … 4,930世帯
- マイクロ・ファイナンスを利用する女性 … 4,899人

参加者の声

マーサ・ラルバイさん

「有機肥料を使った農業について学びました。この土地に合ったより良い作物は、家族の栄養改善にも役立っています」

女性による協同組合の代表を務めるマリアさん

コロンビア COLOMBIA

Project | **若者による地域改善活動**

主な活動成果

- 若者へのリーダーシップ・トレーニング … 133人
- 村落貯蓄貸付組合へ参加した若者 … 1,336人

参加者の声

ジョン・フレイマン・モスケラさん

(若者グループのリーダー)

「政治に関心を持つことはとても重要です。これまで長年に渡り行われてきた、共有の財産である公的資金の不正流用は許しません」

40人の若者が参加したハムンジ地区での会議

ドミニカ共和国 DOMINICAN REPUBLIC

Project | **子どもの参加推進**

主な活動成果

- 災害リスク軽減プログラム … 142地域
- 教師へのトレーニング … 600人以上

参加者の声

ペルラ・M・スエロさん

(災害リスク学習キャンプに参加した子ども)

「災害の脅威やリスク、家族で備えることの必要性など、ここで学んだことはすべて、地域の他の子どもに伝えました」

災害によるリスクを訴えながら地域を行進

ニカラグア NICARAGUA

Project | **「子どもの権利」の啓発活動**

主な活動成果

- 保護者、地域リーダー向け「子どもの権利」に関するワークショップ … 1,751人
- 子どもの健康と衛生習慣の調査 … 150校

参加者の声

保護者向け講習会に参加した母親

「講習会に参加したことで、娘を叩くなどの虐待はいけないことだと分かりました。これからはもう、そんなことはしません」

子どもたちの声の反映を目的に設置された、子ども協議会

ペルー PERU

Project | **遊びを通じた学習促進**

主な活動成果

- 幼児のための早期学習センターの利用者 … 9,590世帯
- 就学前教育施設の支援 … 幼稚園15カ所

参加者の声

ブランコ・リリオさん(教師)

「就学前の子どもたちは、遊びを通じて記憶力などの能力を伸ばしています。自ら率先して行動するなど、自主性の芽生えも感じられます」

子どもたちは楽しく遊びながら学んでいきます

ホンジュラス HONDURAS

Project | **暴力からの保護システム**

主な活動成果

- 「子どもの権利」保護委員会 … 130人
- ジェンダー問題に関する講習会 … 80人(14〜22歳の若者)

参加者の声

ウォルターさん(14歳)

「自分には、尊重されるべき権利があることを知っています。性別に関係なく、この権利は守られるべきです」

保護者向け「子どもの権利」保護委員会の様子

アフリカ AFRICA

ウガンダ UGANDA

Project **女子生徒への衛生指導**

ウガンダでは、女子生徒の生理中の衛生状態が深刻な問題となっていました。農村部の女性や女の子は既製品の生理用ナプキンを買うゆとりがないため、適当な布切れなどを使わざるをえません。粗悪に作られたナプキンは経血を十分に吸収できないうえ、それを使用することで感染症にかかる例もありました。また、学校に個室トイレや給水設備がなく、生理用ナプキンの備えもないことが、女子生徒の出席率や成績に影響を及ぼしていました。

プランは、地方の保健員と協力し、リラ地方とカムリ地方の支援対象校36校において、子どもから子どもへ伝える衛生推進トレーニングを実施しました。合計1,449人の女子生徒や女性教師、PTAのメンバーが参加し、簡易手洗い装置を設置したほか、基礎衛生や布切れと地元の綿を使った生理用ナプキンの作り方を習いました。この訓練で作られた生理用ナプキンは女性教師が保管し、女子生徒が急に必要になった場合に利用されています。またプランは、追加の生理用ナプキンやバケツ、洗い桶を提供。女の子たちが生理中に水浴びできるようにし、21校に女子用個室トイレを備えた新しいトイレ棟を建設しました。

生理用ナプキンを持つ女の子たち

参加者の声

マリー・カウダさん(16歳)

「以前は、走ったり歩いたりしている時に、ナプキン代わりの布が落ちてしまうことがありました。とても恥ずかしくて、熱があると言って早退をしたりしていましたが、そうすると授業を受けられませんでした。今では休まずに済むようになり、経血の処理もうまくできるようになりました。もう生理中でも気にせず学校へ通えます」

カメルーン CAMEROON

Project **農村における小規模金融**

カメルーンでは、銀行の融資が受けられるのは国民の1%以下、マイクロ・ファイナンス(小規模金融)を利用できる人もわずか3.5%にすぎません。プランのビタン活動地域でも、小規模金融を行う組織は210村中6村しかなく、この状況を象徴していました。

プランはSAIMEDという地元NGOと連携して、3年間で住民約9,000人に小規模金融サービスを提供する取り組みを開始。プランによるトレーニングを受けたSAIMEDのスタッフは、まず住民の意識啓発から着手しました。各村を回るのに必要なバイクを、プランはスタッフ5人につき1台支給。一方、活動に賛同する住民は15〜22人ずつで小規模金融グループを作り、計182グループが誕生しました。さらにプランはコミュニティ・ボランティア20人にトレーニングを行い、各グループを巡って活動を支援するためのバイクを全員に支給しました。初年度は、182グループから3,330人がプロジェクトに参加し、その8割以上を女性が占めました。預貯金額は300万円以上にのぼり、多くの世帯が抱える子どもの教育や健康に関する問題の解決などに役立てられています。

通帳を見ながら、定期的に行っている預金と融資の確認をするメンバーたち

参加者の声

ベルナデットさん

(小規模金融グループメンバー、59歳)

「これまでは、村で売られているマラリア薬を買うために、500CFAフラン(約80円)を近所から借りなければなりませんでした。でも今は、子どもが病気になったら、村の小規模金融グループから借りられます。子どもたちの学費や家族に必要な支出も、ここから難なく借りることができて助かります」

ジンバブエ ZIMBABWE

Project
スポーツを通じた若者教育

金鉱が点在するプランのクエクエ活動地域には、仕事に恵まれず、また特別な技能を持たない10代から20代の若者が大勢集まり、違法な金採掘に従事しています。こうした若者たちがプランが行っているような知識普及活動などに参加することは稀なため、彼らはHIVやエイズ、性感染症についての大切な知識を得ることができないまま、感染の危険にさらされています。さらに、男性優位社会で自己主張することを許されない少女たちが早すぎる結婚を強いられ、性感染症に悩まされる場合が多いのも実情です。

優勝チームの代表として賞品を受け取り喜ぶ少女

プランは、「性と生殖に関する健康と権利」に関する知識を広めることを目的に、学校に通えない若者たちも参加できるスポーツ大会を開催。1,500人を超える参加者たちは、スポーツを楽しむと同時に、保健員や病院関係者によるカウンセリングを受けたり、行動変容、性と生殖に関する健康、安全な妊娠・出産、母子感染の予防などに関する重要な知識を得ることができました。

大会の最期、サッカーやネットボールの優勝チームには、トロフィーとともにそれぞれの用具一式、ボール3個、空気ポンプが贈呈されました。

参加者の声

ミリアムさん（16歳）
「今日は、とても楽しい忘れられない一日となりました。スポーツを思い切り楽しむとともに、たくさんの大切なことも学びました。これまでは親がHIV陽性の場合でも、陰性の子どもを持つことができるとは知りませんでした。このような知識を教えてくれたプランや保健員の方たちに感謝しています」

マリ MALI

Project
衛生環境の改善

北部マコトジ村では、家庭用トイレの設置率が35%と非常に低く、また共用トイレはあるものの利用されておらず、屋外排せつが日常化していました。このような劣悪な衛生環境は下痢や腹痛、コレラなどの病気、問題を引き起こしており、住民を長年悩ませていました。これに対しプランは、トイレの整備や衛生トレーニングを実施。衛生環境の改善を行いました。

これまでにトイレ12基を新設、既存の共用トイレ42基を修繕するなどし、トイレへのアクセスの改善を図りました。また毎週水曜日を「衛生の日」と定め、トイレの清掃活動、衛生教育を女性や若者、子どもとともに実施。この活動は、屋外排せつに至る原因のひとつだったトイレ環境を改善するとともに、地域の衛生意識の向上に貢献しました。

妹と一緒に清掃活動に参加するトウンカラさん（左）

開始から2カ月。地域は劇的な変化を遂げ、現在では100%の住民が適切なトイレを利用できるようになり、0%だった食事前や排せつ後の手洗いはほぼ全住民が実行。衛生環境が原因の病気の発生件数は大幅に減少しました。飛躍的な改善を遂げたマコトジ村は、屋外排せつを撲滅した衛生的な村として政府の認定を受けました。

参加者の声

トウンカラさん（13歳）
「家にトイレができたので、屋外排せつをしなくて済むようになりました。また学校で学ぶまで、屋外排せつがハエを発生させ、多くの病気の原因となっていることは知りませんでした。これからはトイレを使用することの重要さを地域の人たちと共有し、衛生知識の不足からくる病気から身を守っていきたいと思っています」

エチオピア ETHIOPIA

Project
コミュニティ主導による飲料水の確保

主な活動成果
- 学校の給水設備設置 … 児童3,600人と教員85人
- ごみ処理と堆肥作りトレーニング … 356人
- 屋外排せつゼロ宣言の村 … 35村

参加者の声

アト・ハブテイエス・ジナビーさん（水管理委員会議長）
「今では余った飲料水でピーマンやタマネギの苗を育てて、市場で販売しています。過去4カ月間だけでも、これらの苗の売り上げだけで2,000ブル（約8,800円）以上を稼ぐことができました」

整備された水場。安心・安全な飲み水を確保できます

ガーナ GHANA

Project
書き取り大会による小学生の学力向上

主な活動成果
- 教員向け「子どもにやさしい指導法」トレーニング … 474人
- 書き取り大会出場に向けた支援 … 18校、48人
- 学校運営委員会向け教育環境改善トレーニング … 156校、各校10～30人

参加者の声

ヴィクトリア・アコーティさん（マンケッシム活動地域の教員）
「書き取り大会は毎年恒例の行事にすべきです。この大会によって、多くの子どもたちが読み書きに興味を持ち始めました。今では、書き取り練習をする子どもたちの姿をあちこちで見かけるようになりました」

全国大会での様子。プランの支援地区から12校が出場

ギニア GUINEA

Project
母子生存率の向上

主な活動成果
- 村の助産師へのトレーニング … 121人
- 妊婦搬送用救急バイクの支給 … 5台
- 医療従事者へのトレーニング … 36人
- 駆虫薬の投与 … 57校、1万3,823人

参加者の声

ヤモン・ラマーさん（ポンポレ村の助産師）
「2カ月前に緊急時の産科ケアの訓練を受けて以降、分娩中や出産後の子どもや母親の死亡例はありません。診療所が帝王切開への対応を改善し始めたので、合併症が判明した症例はすべてこうした診療所に搬送しています」

助産師の介添えのもと生まれた赤ちゃん

ケニア KENYA

Project
持続的な生計手段の確立

主な活動成果
- 学校での収入増加トレーニング … 66中学校
- 若者への職業訓練 … 1,085人
- 青年事業者への経営管理に関するアドバイス … 31グループ

参加者の声

ローズ・ジュマさん（マニワンダ・オレンジ女性グループメンバー）
「小規模貸付を利用して、ロバを使った運送業を始めました。ロバは飼育が簡単で、一度に多くの物を運べるし、費用もとても安価です。今では水の運搬だけで日に1,200ケニア・シリング（約900円）の収入があります」

ロバで輸送した水を保健センターに運び入れるローズさん（左）

スーダン SUDAN

Project
良質な教育の提供

主な活動成果
- 指導者への識字トレーニング … 13人
- 女性向け識字教室の開催 … 参加者1,500人
- 識字教室参加者への職業訓練 … 276人

参加者の声

サイダ・アライムーンさん（24歳）
「私は長い間読み書きができずにいましたが、読み書きと簡単な技術を学んだおかげで、手工芸品を製作できるようになり、その収入を家族のために使えるようになりました。夢や希望が叶う、明るい未来が見えてきました」

識字教室の場で話し合う女性たち

シエラレオネ SIERRA LEONE

Project
母子生存率の向上

主な活動成果
- 保健所を利用する女性と子どもの増加 … 2万人以上(前年度比)
- 簡易診療所スタッフへのトレーニング … 166人
- 保健スタッフ向け健康改善トレーニング … 72人

参加者の声

イサタ・レビーさん
（モヤンバ県の女性グループメンバー）
「以前は、保健所で出産するのは10人に1人しかいませんでしたが、今では妊婦は全員保健所で出産します。私たちは、保健サービスをもっと活用し、村の乳幼児の健康と発育を促すような行動を実践するように勧めています」

地域の保健所内で遊ぶ子ども

ベナン BENIN

Project
若者が制作した映像による意識啓発

主な活動成果
- メディア制作のためのトレーニング … 若者31人
- 若者によるラジオ番組放送 … 7局110回
- 若者への生計向上トレーニング … 115人

参加者の声

ボリス・イッシフさん（若者メディア・クラブのメンバー）
「これまでは、親への意識啓発に用いる、子どもたちの現状を反映した資料がありませんでした。今回私たちが作った『早すぎる結婚』についての映像を観て、親たちはこれが自分の子どもたちの心からの叫びだと理解してくれるようになりました」

子どもメディア・クラブメンバーによる話し合いの様子

マラウィ MALAWI

Project
児童労働からの脱却

主な活動成果
- 子どもの権利侵害についての通報 … 300件以上
- 問題解決に向けた国の行動計画への参加
- 地域住民による児童労働問題解決委員会の設置
- タバコ農園で働く子どもの保護

参加者の声

牧童として子どもを働かせていた雇い主
「幼い子どもを雇うのは間違いだと気づき、もし自分の子どもが同じように牧童として雇われていたら私はどう思うだろうと反省しました。今後は、仲間たちにも幼い子どもを雇わないよう啓発していきます」

児童労働から脱却した子どもとその家族の家

エジプト EGYPT

Project ｜ **子どもの参加推進**

主な活動成果
- 子どもグループの結成 … 170グループ

参加者の声

マームードさん（13歳）
「以前の僕は、たとえ他人を傷付けても、自分さえ楽しければいいと思っていました。活動に参加したおかげで、僕は責任の本当の意味と自分の役割を理解しました」

地域の会議に参加した子どもたち

ギニアビサウ GUINEA-BISSAU

Project ｜ **エイズ孤児への教育支援**

主な活動成果
- エイズ孤児への医療・教育支援 … 1,964人
- HIV感染者への家庭訪問 … 829人

参加者の声

メタさん（2児の母親）
「夫が3年前に亡くなってから、このような支援を受けたのは初めてです。これまでずっと、医者に診てもらうことも、薬を買うことも、子どもに新しい服を買ってやることもできずにいました」

提供された学用品を持つ生徒

ザンビア ZAMBIA

Project ｜ **母子保健の向上**

主な活動成果
- 簡易救急自転車「ザンビュランス」（自転車でけん引する救急搬送用トレーラー）の導入 … 約90台

参加者の声

サカラさん
（チコボ保健所のシスター）
「ボランティアが『ザンビュランス』で患者を運んでくれます。この1カ月の間に、産後の母親8人と病気の患者4人がザンビュランスで搬送されました」

ザンビュランスで運ばれてきた患者と介助する医師ら

セネガル SENEGAL

Project ｜ **保健衛生の向上**

主な活動成果
- 携帯電話による保健メッセージの受信 … 既婚女性160人
- メッセージを受信した母親の子どもの予防接種率 … 90%

参加者の声

ファトゥ・ティネさん
（4児の母親、25歳）
「産前健診の2日前には必ず、携帯電話に案内のメールが届きました。私は字が読めないので、家族が読んでくれました。今回のお産は前の3回に比べてとても楽でした」

子どもの予防接種日なども携帯電話に通知されます

タンザニア TANZANIA

Project ｜ **安全な環境の確保**

主な活動成果
- 子どもにとっての安全な環境に関する対話 … 参加者5,500人以上

参加者の声

ムセマクウェリさん
（活動地域に暮らす親）
「地域での話し合いのおかげで、いろんなことが変わってきたのは事実です。通過儀礼の内容やカリキュラムも、学校の授業などを考慮して見直しました」

演劇を通して子どもに有害な慣習の改善を訴えます

トーゴ TOGO

Project ｜ **人身売買の防止を訴えるラジオ番組**

主な活動成果
- 子どもラジオ・レポーターの育成 … 30人
- ラジオ番組の放送 … 250回

参加者の声

ザカリさん（カダンバラ村の家長）
「子どもの養育のためには、わずかな自分の財産を上手に管理すればよいのです、ラジオ番組のヒーローのように。私も彼のような完璧な父親になりたいです」

人身売買について“NO!”と声を上げる生徒

ニジェール NIGER

Project | **女性による衛生管理**

主な活動成果

- 家庭用トイレの建設 … 1,129世帯
- 防虫処理済み蚊帳の支給 … 3,803張

参加者の声

アダマ・ムッサさん（40歳）

「トイレを建てたいと希望したら、ありがたいことに村の若者たちが自発的に無料で建設作業を手伝ってくれました。おかげであまりお金が掛からずにすみました」

壁に囲われ、安心して使用できるようになったトイレ

ブルキナファソ BURKINA FASO

Project | **子どもへの栄養食支給**

主な活動成果

- 栄養不良の子どもへの栄養食支給 … 2,115人
- 栄養改善センターへの支援 … 81カ所

参加者の声

クレア・カボレさん

（バスクレ栄養改善センター）

「プランの支援はとても助かります。特にミルクを支給してもらったおかげで、6カ月未満の栄養不良の乳児に対処することができました」

栄養を摂り元気になった子どもとその母親

モザンビーク MOZAMBIQUE

Project | **未就学児への衛生教育**

主な活動成果

- 未就学児の保護と発育・成長支援のためのクラス … 6コミュニティで16クラス
- 政府による幼稚園の設置 … 128カ所

参加者の声

イサベル・リカルドさん

（4歳の女の子の母親）

「トイレの後には手を洗うということを、私は娘に気づかされました。3、4歳の子どもが今、きちんとトイレを使い、自分から進んで手を洗っています」

子どもたちが得た衛生知識は小学校へも引き継がれています

リベリア LIBERIA

Project | **良質な初等教育の提供**

主な活動成果

- 小学校30校での就学児童増加 … 9,000人
- 女子児童への奨学金支給 … 229人

参加者の声

サラ・タンバさん（小学4年生）

「学校が新しくなって神様に感謝します。ヤシの葉で葺いた屋根の校舎だった時は、雨が降ると家にいるしかなかったけれど、今では、たとえ雨でも毎日学校に通うことができます」

改修後、学習環境が格段に向上した公立の小学校

ルワンダ RWANDA

Project | **家計の安定**

主な活動成果

- 村落金融グループへの若者の参加 … 3,839人
- 養豚舎の建設 … 8カ所

参加者の声

ヴェスティンさん（ルガラマ地区）

「ウムレンゲ・サッコ協同組合で、私は貯金の仕方を教わりました。この貯金によって、私は仲間と一緒に雄牛を2頭買うことができました」

協同組合から助成金を受け、仕立ての技術を学ぶ女性

プラン・マンスリー・サポーター報告

途上国の子どもが直面する社会問題である「ストリート・チルドレンと働く子どもたち」「HIVとエイズ」「障がい」「紛争」「虐待」の5つの分野で、毎年約20プロジェクトを実施しています。

プラン・マンスリー・サポーター収支表

前年度繰越	収入	活動国プロジェクト費用	日本国内費用	次年度繰越
55,786,000円	380,655,000円	313,615,600円 プロジェクト件数：16件	78,401,400円	44,424,000円

インド | 子どもと女性を中心としたHIV予防とケア

実施期間：2009年10月～2012年9月（予定）
実施地域：北部ウッタル・プラデシュ州マウー県、東部オリッサ州ガンジャム県、西部マハラシュートラ州プネー県
対象：子ども・青少年1万2,000人、女性約9,000人
活動国プロジェクト費用：20,997,600円

背景

毎年10万人のHIV陽性の女性が出産し、その3割が母子感染。およそ1,400人の15歳未満の子どもがエイズ関連の病気で亡くなっていると推定されるインド。本プロジェクトでは、母子感染予防やHIV陽性者のケア・治療などを行います。

主な活動内容

- 妊産婦1万3,689人にHIV検査、32人に治療とケアを実施
- 若者ボランティア600人を育成。路上劇などを通じ、地域住民にHIV予防を啓発
- HIV陽性の子どもに学習支援や栄養価の高い食事を支給

今後の予定

これまでの活動が評価され、プランは国家エイズ管理機構よりパートナー団体に選ばれました。今期実施した青少年の意識調査の結果は、今後の国家戦略にも生かされる予定です。

地域住民にHIV予防を啓発するパレード

HIV母子感染予防の啓発ポスター

スーダン | 国内避難民への保健医療サービスの提供と衛生環境の整備

実施期間：2011年1月～2012年12月（予定）
実施地域：西部ダルフールの国内避難民キャンプ3カ所
対象：国内避難民の子どもと妊産婦
活動国プロジェクト費用：16,956,800円

背景

2003年に勃発した紛争の影響で、何百万人もの難民が発生。本プロジェクトでは、約20万人が暮らす北ダルフール州の避難民キャンプにおいて、子どもと妊産婦への予防接種、栄養補給、感染症予防や保健従事者へのトレーニング、衛生的で安全な環境整備を行います。

主な活動内容

- 診療所の設置。1,393人を治療、21件の分娩を介助
- 除菌スプレーを使用することによる衛生環境改善
- 保健師と助産師、合計410人にトレーニングを実施
- 再建する結核センターへの備品等の支給

今後の予定

国内避難民キャンプでは、そこに暮らす人々のコミュニティ意識が希薄です。今後は避難民同士の交流を促進することで、問題解決に向けた連帯感を強め、プロジェクトへの住民の参加を推進していきます。

助産師のトレーニングでの様子

性と生殖に関する健康と権利について学ぶ女性たち

プラン一般プロジェクト報告

プランの専門分野である地域開発の代表的なプロジェクトを、
年度ごとに選んで支援します。
関心のあるプロジェクトを指定することが可能です。

グアテマラ
衛生的な学校建設

実施期間：2010年7月～2011年6月
実施地域：東南部ハラパ県ハラパ郡
サン・ルイ・ヒロテペク郡
サン・ペドロ・ピヌーラ郡
対象：子ども3,408人
活動国プロジェクト費用：10,567,679円

背景と主な活動内容

ハラパ県では、70％の小学校において教室やトイレなどの設備が整備されておらず、多くの子どもたちは仮設教室で勉強しています。雨季になると雨漏りで授業が中断されたり、給水やトイレ設備が不衛生であるために、児童が消化器系の病気にかかるなどの問題もありました。この状況に対し、9つのコミュニティで7教室とトイレ8棟（1棟につき男女別トイレ3基）を新設。同時に小学校における衛生教育と教材支給を実施しました。教育環境と衛生環境が大幅に改善したことで、子どもたちは集中して勉強ができるようになりました。

トイレの完成を祝う子どもと地域の人々

プラン一般プロジェクト収支表

前年度繰越	収入	活動国プロジェクト費用	日本国内費用	次年度繰越
0円	115,557,724円 寄付件数：7,778件	92,446,370円 プロジェクト件数：14件	23,111,354円	0円

※収入額にはメモリアル・ファンド取崩額1,398万5,793円とメモリアル・ファンド利息収益143万3,555円を含みます

インド
人身売買/性的搾取にあった女の子たちのシェルター設置

実施期間：2010年7月～2013年6月（予定）
実施地域：南部アンドラプラデシュ州
対象：6～18歳の女の子324人
活動国プロジェクト費用：11,783,492円

背景と主な活動内容

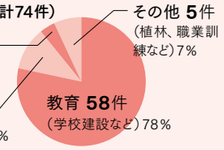
実施地域、特に沿岸部では、頻発する自然災害で生計手段である漁業が打撃を受け、生活のために女性が売春せざるを得ないケースが後を絶ちません。特にこうした経験のある母親を持つ“第二世代”と呼ばれる女の子たちが同じ道に進んだり、知人に騙されて売春シンジケートに売られる事例が多発しています。本プロジェクトでは、保護された女の子114人に食事や日用品の支給、基礎教育やカウンセリングを実施するとともに、経済的自立に向けた職業訓練を行いました。また、売春多発地帯に住む女の子に職業訓練を実施。合計324人の女の子を支援しました。

お菓子づくりの職業訓練を受ける女の子たち

プラン特別プロジェクト報告

「学校建設」など、独立したひとつのプロジェクトを丸ごと支援。活動国や内容は、支援者のご希望と現地のニーズの両方を考慮して決定します。

実施プロジェクト（計74件）



プラン特別プロジェクト収支表

前年度繰越	収入	活動国プロジェクト費用	日本国内費用	次年度繰越
30,918,520円	377,297,731円 寄付件数：58件 （個人30件、企業・団体28件）	371,367,377円 プロジェクト件数：74件 （アジア54件、アフリカ13件、中南米7件）	20,517,153円	16,331,721円

※収入額にはメモリアル・ファンド取崩額500万円を含みます

フィリピン
学校建設

実施期間：2010年8月～2011年2月
支援者：近藤直樹さん
実施地域：中部サザンレイテ州
ピントゥヤン町ソンオク村
対象：ソンオク小学校の児童67人
（全校生徒212人）

背景と主な活動内容

ソンオク小学校では、児童数の増加に伴い教室数が不足していたうえ、既存の教室の老朽化により、子どもたちは安心して学習できる環境ではありませんでした。本プロジェクトでは、2教室からなる校舎の建設、机やいすなどの教室備品や教材の支給を実施。児童たちは設備の整った快適な教室で勉強できるようになりました。

授業に積極的に臨む子どもたち

近藤さんのコメント
「新しい教室の前で、笑っている子どもたちの写真を見て、支援してよかったと思いました」

エクアドル
小学校建設

実施期間：2010年7月～2011年3月
支援者：ヒロセ通商株式会社
実施地域：南部ロハ県カルベス地区
サンギリン郡
対象：ゴンサロ・サルデュムビデ学校の児童50人

背景と主な活動内容

児童数に見合った教室や設備が不足していましたが、安全で快適な2教室が完成したことで学習環境は格段に改善されました。自分たちの意見を取り入れたデザインで建設されたこともあり、子どもたちは以前より積極的に学習に励むように、また教師たちも指導法の改善に熱心に取り組むようになりました。

子どもたちの意見を反映し完成した2教室

ヒロセ通商のコメント
「日本では学校に行けることが当たり前で、物に溢れた生活をしています。この学校の子どもたちは、自発的に学び行動できるたくましさがあり、逆に大切な何かをいただいた気持ちになりました」

補助金によるプロジェクト報告

公的機関の補助金制度などを活用した支援。
現地事務所と協力してプロジェクトを形成、申請して、活動資金を獲得、
実施、報告します。

ベトナム 中部洪水被災者緊急支援

実施期間：2010年11月
実施地域：中部クアン・ビン県トゥエン・ホア、
クアン・トラク、ミン・ホアの3地区
対象：被災した1,000世帯（約5,000人）、5歳未満児と妊産婦計約1,500人、23の幼稚園（園児約1,300人）
交付元：ジャパン・プラットフォーム
活動国プロジェクト費用：5,300,000円

背景と主な活動内容

2010年10月、ベトナム中部を襲った台風による洪水はプランの活動地域にも深刻な被害をもたらしました。プラン・ジャパンはプラン・ベトナムと協力して、ジャパン・プラットフォームから活動資金を獲得。地域の情報を集めて状況を分析すると同時に、住民全員参加の会議を開催。リーダーとの話し合いを経て、支援対象の村を決定し、一週間に渡って支援物資を支給しました。また合わせて、被災した幼稚園への備品や学用品の支給も実施。全体を通して調達の遅れ、物資の盗難、配布所での争いなどもなく、支援活動は無事に完了しました。

補助金によるプロジェクト収支表

前年度繰越	収入	活動国プロジェクト費用	日本国内費用	次年度繰越
0円	48,234,385円	39,482,495円 プロジェクト件数：2カ国3件	8,751,890円	0円

支援物資内容

- 1,000世帯に食糧1カ月分
（干し魚、肉の缶詰、植物油など）
- 5歳未満児と妊産婦計1,500人に豆乳と栄養補助剤1カ月分
- 幼稚園23園（園児約1,300人）に昼寝用マット、黒板などの備品や教材、学用品

「おなかの子どものことが心配でしかたなかった」と語った妊婦と、物資を手渡す山形職員（左）

「1週間お米しか食べていないから今日のごはんが楽しみ」

緊急・復興支援報告（海外・東日本大震災）

災害や紛争が生じた際に支援を募ります。子どもの権利保護の視点を忘れず、
長期的な地域開発の専門家として、復興までを視野に入れて活動します。

緊急・復興支援収支表

前年度繰越	収入	活動国プロジェクト費用・ 東日本大震災復興支援プロジェクト実施費	日本国内費用	次年度繰越
0円	**190,170,233円** 寄付件数：8,337件	**79,365,727円** プロジェクト件数：6カ国7件	**8,062,950円**	**102,741,556円**

パキスタン ｜ 洪水

実施期間：2010年8月～2011年8月
実施地域：南部シンド州と中部パンジャブ州
対象：約13万人
活動国プロジェクト費用：4,521,705円（全支援国総額：379,002,480円）

背景

2010年7月末、モンスーンによる記録的な豪雨が発生。総人口の1割を超える2,000万人が洪水被害に遭い、死者数は1,000人以上にのぼりました（2011年1月現在、EMDAT）。

主な活動内容

- 1万7,931世帯に食糧や安全な飲料水を支給
- 1万7,346世帯に仮設テントやトイレを設置。衛生キット、蚊帳を支給
- 子どもにやさしいスペースを301カ所に設置
- 3万1,028人に子どもの保護、衛生環境、防災についての意識啓発

食糧支給を受ける子どもたち

ニジェール ｜ 食糧危機

実施期間：2010年3月～2012年3月（予定）
実施地域：南部ドッソ活動地域の95村、西部ティラベリ活動地域の120村
対象：約123万人
活動国プロジェクト費用：7,065,781円（全支援国総額：55,236,640円）

背景

干ばつによる食糧不足により、人口の6割にあたる780万人が飢えに苦しみました（2011年8月現在、EMDAT）。さらに2010年8月の豪雨による洪水被害が追い討ちをかけ、二重の災害に見舞われました。

主な活動内容

- 食糧支給（約4,500トン）
- 穀物の種子保管と作付け農法の指導
- 穀物銀行の設立。備蓄倉庫の建設と備蓄用穀物を約40トン支給
- 穀物や豆の種子を約20トン支給

ハッソーミさん（穀物銀行管理委員会 委員長）
「私たちが一番苦しかった時期にプランが穀物を届けてくれました。おかげで食糧事情も改善されてきました」

支給されたトウモロコシを分配する母親たち

日本 ｜ 東日本大震災

実施期間：2011年3月～2012年3月（予定）
実施地域：宮城県、主に多賀城市とその周辺市町
対象：約2万5,000人（実施地域の児童・生徒とその保護者、教職員、臨床心理士などの「子どもの心のケア」に携わる専門家）
東日本大震災復興支援プロジェクト実施費：52,209,159円

背景

2011年3月11日に東日本を襲った地震と津波は、未曾有の被害をもたらしました。プラン・ジャパンでは、日本国内で初となる緊急支援を決定。宮城県内で、被災した子どもたちが心身ともに安心できる環境を作るための支援活動を開始しました。

主な活動内容

- 緊急支援物資支給（避難所で1,000世帯に日用品を支給など）
- 学校再開に向けての支援（被災した小・中学生850人に学用品や防災ずきんを支給など）
- 被災地における心のケア支援（「こどもの日フェスティバル」を開催し、350人が参加。「ケア・宮城」とともに教師・保護者向けのワークショップを約40回実施し、2,300人以上が参加など）
- 避難所における子どものためのスペースの設置・運営（のべ800人以上が利用など）
- 子どもたちの声の発信（小学校2校56人、中学校1校9人が参加など）

多賀城市の避難所に設置された「子どものためのスペース」

活動国の基本統計一覧

		活動開始年	チャイルド数	日本のスポンサーを持つチャイルド数	プロジェクト数	職員数	5歳未満児死亡率（1,000人あたり）	低出生体重児出生率（%）	平均余命（歳）	小学校に入学した生徒が最終学年に残る率（%）	成人の総識字率（%）	改善された水源を利用する人の比率（%）	1人あたりのGNI（米ドル）	1日1.25米ドル未満で暮らす人の比率（%）
アジア	インド	1979	71,925	1,179	220	1,175	66	28	64	66	63	88	1,170	42
	インドネシア	1969	50,987	2,191	14	392	39	9	71	80	92	80	2,230	29
	カンボジア	2002	24,072	1,056	45	155	88	9	62	54	78	61	650	26
	スリランカ	1981	24,659	1,595	312	153	15	17	74	98	91	90	1,990	14
	タイ	1985	10,000	486	91	40	14	9	69	-	94	90	3,760	2
	中国	1995	31,591	1,718	116	118	19	3	79	-	94	89	3,620	16
	ネパール	1978	41,184	2,200	275	253	48	21	67	62	58	88	440	55
	パキスタン	1997	24,819	1,432	113	157	87	32	67	76	54	90	1,020	23
	バングラデシュ	1994	35,150	2,234	35	323	52	22	67	55	55	80	590	50
	東ティモール	2001	4,077	0	14	84	56	12	62	-	-	69	2,460	37
	フィリピン	1961	43,897	2,043	403	307	33	21	72	73	94	91	1,790	23
	ベトナム	1993（再開）	39,919	2,738	259	225	24	5	74	94	93	94	1,010	22
	ラオス	2006	5,316	154	77	53	59	11	65	67	73	57	880	44
中南米	エクアドル	1963	53,586	1,402	122	255	24	10	75	81	84	94	3,940	5
	エルサルバドル	1976	40,873	1,041	251	138	17	7	72	76	84	87	3,370	6
	グアテマラ	1978	40,423	977	111	276	40	12	71	65	74	94	2,630	12
	コロンビア	1962	27,926	1,113	128	392	19	6	73	88	93	92	4,950	16
	ドミニカ共和国	1987	30,449	610	68	154	32	11	73	69	88	89	4,530	4
	ニカラグア	1994	30,101	774	161	176	26	8	73	48	78	85	1,010	16
	ハイチ	1973	42,583	315	89	286	87	25	61	-	-	63	-	55
	パラグアイ	1994	24,453	718	336	81	23	9	72	79	95	86	2,280	7
	ブラジル	1997	14,299	199	34	56	21	8	73	76x	90	97	8,070	5
	ペルー	1994	27,622	844	189	153	21	8	73	83	90	82	4,160	8
	ボリビア	1969	47,454	1,210	258	187	51	6	66	80	91	86	1,630	12
	ホンジュラス	1977	37,316	1,139	78	192	30	10	72	76	84	86	1,820	18
アフリカ	ウガンダ	1992	40,049	1,435	204	193	128	14	53	32	75	67	460	52
	エジプト	1981	39,833	1,492	128	206	21	13	73	97	66	99	2,070	2
	エチオピア	1995	30,741	868	229	166	104	20	56	40	36	38	330	39
	ガーナ	1992	31,165	780	140	158	69	13	57	60	66	82	700	30
	カメルーン	1996	28,557	581	134	120	154	11	51	57	76	74	1,170	33
	ギニア	1989	34,381	965	402	109	142	12	58	55	38	71	370	70
	ギニアビサウ	1995	21,157	252	116	76	193	24	48	-	51	61	510	49
	ケニア	1982	72,512	2,230	136	276	84	8	55	84	87	59	770	20
	ザンビア	1996	26,324	355	30	138	141	11	46	79	71	60	970	64
	シエラレオネ	1976	12,000	88	203	106	192	14	48	-	40	49	340	53
	ジンバブエ	1986	44,672	1,423	100	204	90	11	46	62	91	82	-	-
	スーダン	1977	39,315	444	89	246	108	31	58	93	69	57	1,230	-
	セネガル	1982	37,674	1,467	178	124	93	19	56	58	42	69	1,040	34
	タンザニア	1991	33,274	892	49	158	108	10	56	83	73	54	500	89
	トーゴ	1988	27,328	926	165	143	98	12	63	45	65	60	440	39
	ニジェール	1998	22,422	253	84	79	160	27	52	67	29	48	340	66
	ブルキナファソ	1976	45,595	1,579	266	115	166	16	53	71	29	76	510	57
	ベナン	1995	27,393	384	192	96	118	15	62	63	41	75	750	47
	マラウィ	1994	29,888	743	145	114	110	13	54	36	73	80	280	74
	マリ	1974	30,999	1,040	77	137	191	19	49	79	26	56	680	51
	モザンビーク	2007	9,271	9	25	45	142	15	48	44	54	47	440	75
	リベリア	2006（再開）	5,251	0	24	43	112	14	59	-	88	68	160	84
	ルワンダ	2007	12,134	0	17	45	111	6	51	31	70	65	460	77
	日本	1983	-	-	-	64	3	8	83	-	-	100	37,870	-

※プランに関するもの以外のデータは「ユニセフ 世界子供白書 2011」からの出典となります

2010年7月1日～2011年1月31日

2011年度 財団法人日本フォスター・プラン協会 決算報告

2011年2月1日～2011年6月30日

2011年度 公益財団法人プラン・ジャパン 決算報告

※2011年度は公益財団法人移行に伴い、移行前後で期を分けて決算を行っています

この決算報告は、あらた監査法人（PricewaterhouseCoopers Aarata）および本財団監事による監査を受け、理事会並びに評議員会の承認を経て行政庁へ提出した財務諸表等*の抜粋です。皆さまのご支援により、当期収入34億5,685万9,068円を計上することができ、プログラム実施費・協力事業費・JICA草の根技術協力事業費として、海外における開発支援プロジェクトに25億8,055万1,190円（当期収入比：74.7%）、東日本大震災復興支援プロジェクト実施費に5,220万9,159円（同：1.5%）、その他国内運営費に7億1,911万4,485円（同：20.8%）を充てることができました。

＊財務諸表等はプラン・ジャパンウェブサイトでご覧いただけます

貸借対照表

2011年6月30日現在（単位：円）

科目	金額
Ⅰ　資産の部	
1．流動資産	
現金預金	21,654,348
流動資産合計	21,654,348
2．固定資産	
（1）基本財産	
投資有価証券	199,504,000
定期預金	496,000
基本財産合計	200,000,000
（2）特定資産	
メモリアル・ファンド	224,238,942
スポンサーシップ寄付金	721,852,917
マンスリー・サポーター寄付金	44,424,000
海外プロジェクト特定寄付金	16,331,721
東日本大震災復興支援寄付金	102,741,556
貯蔵品	9,145,220
未成事業支出金	6,124,574
前払費用	5,784,390
什器備品等	1,979,304
保証金	32,710,000
電話加入権	882,792
特定資産合計	1,166,215,416
（3）その他の固定資産	
什器備品等	9,982,646
その他の固定資産合計	9,982,646
固定資産合計	1,376,198,062
資産合計	1,397,852,410
Ⅱ　負債の部	
1．流動負債	
未払金	14,775,945
未払費用	4,999,743
預り金	1,878,660
短期リース債務	3,074,340
流動負債合計	24,728,688
2．固定負債	
長期リース債務	6,908,306
固定負債合計	6,908,306
負債合計	31,636,994
Ⅲ　正味財産の部	
1．指定正味財産	
寄付金	1,366,215,416
指定正味財産合計	1,366,215,416
（うち基本財産への充当額）	(200,000,000)
（うち特定資産への充当額）	(1,166,215,416)
2．一般正味財産	0
（うち基本財産への充当額）	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)
正味財産合計	1,366,215,416
負債及び正味財産合計	1,397,852,410

正味財産増減計算書

2010年7月1日～2011年1月31日（単位：円）

科目	金額
Ⅰ　一般正味財産増減の部	
1．経常増減の部	
（1）経常収益	
①基本財産運用益	1,181,844
基本財産受取利息	1,181,844
②受取寄附金	1,907,322,119
スポンサーシップ寄附金	1,405,624,500
プロジェクト特定寄附金	239,691,847
マンスリー・サポーター寄附金	225,085,000
プロジェクト無特定寄附金	36,920,772
③特定資産運用益	1,028,025
メモリアル・ファンド利息収益	1,028,025
④事業収益	5,653,300
⑤受取補助金等	2,692,000
受取補助金	2,692,000
⑥雑収益	2,712,258
受取利息	2,173,185
雑収益	539,073
経常収益計	1,920,589,546
（2）経常費用	
①事業費	1,902,661,979
プログラム実施費	1,519,183,738
協力事業費	7,992,000
広報費	201,667,066
広告費	102,465,184
広報費	20,268,696
人件費	37,889,094
事務費	32,666,771
施設費	7,777,053
諸雑費	600,268
事業関連費	173,819,175
広報費	430,085
人件費	87,313,596
事務費	61,638,052
施設費	23,365,695
諸雑費	1,071,747
②管理費	67,265,888
人件費	47,360,270
事務費	8,363,312
施設費	10,937,412
諸雑費	604,894
経常費用計	1,969,927,867
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 49,338,321
投資有価証券評価損益等	△ 1,140,000
評価損益等計	△ 1,140,000
当期経常増減額	△ 50,478,321
2．経常外増減の部	
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 50,478,321
一般正味財産期首残高	819,836,447
一般正味財産期末残高	769,358,126
Ⅱ　指定正味財産増減の部	
①特定資産評価損益	△ 990,000
投資有価証券評価損益	△ 990,000
②一般正味財産への振替	△ 5,000,000
当期指定正味財産増減額	△ 5,990,000
指定正味財産期首残高	443,514,735
指定正味財産期末残高	437,524,735
Ⅲ　正味財産期末残高	1,206,882,861

正味財産増減計算書

2011年2月1日～2011年6月30日（単位：円）

科目	金額
Ⅰ　一般正味財産増減の部	
1．経常増減の部	
（1）経常収益	
①基本財産運用益	825,371
基本財産受取利息振替額	825,371
②受取寄付金	1,339,343,666
スポンサーシップ寄付金振替額	867,121,811
プロジェクト特定寄付金振替額	278,896,159
海外プロジェクト特定寄付金振替額	225,403,168
国内プロジェクト特定寄付金振替額	53,492,991
マンスリー・サポーター寄付金振替額	164,079,000
プロジェクト無特定寄付金振替額	29,246,696
③特定資産運用益	1,625,660
メモリアル・ファンド利息収益振替額	405,530
受取利息振替額	1,220,130
④事業収益	39,889,085
事業収益	39,889,085
⑤雑収益	163,185
雑収益	163,185
経常収益計	1,381,846,967
（2）経常費用	
①事業費	1,330,547,000
プログラム実施費	1,021,884,957
JICA 草の根技術協力事業費	31,490,495
東日本大震災復興支援プロジェクト実施費	52,209,159
広報費	101,894,190
広告費	48,334,153
広報費	2,498,162
人件費	30,214,324
事務費	14,182,768
施設費	6,058,672
諸雑費	606,111
事業関連費	123,068,199
広報費	1,119,276
人件費	63,410,544
事務費	39,911,346
施設費	16,729,027
諸雑費	1,898,006
②管理費	51,399,967
人件費	32,735,806
事務費	6,308,109
施設費	10,596,539
諸雑費	1,759,513
経常費用計	1,381,946,967
当期経常増減額	△ 100,000
2．経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
①指定正味財産への振替額	769,258,126
経常外費用計	769,258,126
当期経常外増減額	△ 769,258,126
当期一般正味財産増減額	△ 769,358,126
一般正味財産期首残高	769,358,126
一般正味財産期末残高	0
Ⅱ　指定正味財産増減の部	
①基本財産運用益	825,371
基本財産受取利息	825,371
②受取寄付金	1,498,766,221
スポンサーシップ寄付金	952,202,500
プロジェクト特定寄付金	375,732,818
海外プロジェクト特定寄付金	219,498,271
国内プロジェクト特定寄付金	156,234,547
マンスリー・サポーター寄付金	155,570,000
プロジェクト無特定寄付金	15,260,903
③特定資産運用益	1,625,660
メモリアル・ファンド利息収益	405,530
受取利息	1,220,130
④特定資産評価益	10,000
⑤一般正味財産への振替額	△ 1,341,794,697
⑥一般正味財産からの振替額	769,258,126
当期指定正味財産増減額	928,690,681
指定正味財産期首残高	437,524,735
指定正味財産期末残高	1,366,215,416
Ⅲ　正味財産期末残高	1,366,215,416

受取寄付金の会計処理方針の変更について

従来、受取寄付金は、現金受入時に一般正味財産増減の部の経常収益として計上していました。公益財団法人移行後は、現金受入時に一旦指定正味財産増減の部で受入れるよう変更し、寄付金の使途目的に沿って寄付金を使用するなど、寄付金に課された制約が解除された年度に一般正味財産増減の部で収益処理しています。また、年度末において、制約が課されたまま未使用の寄付金は、貸借対照表上、特定資産として計上しています。

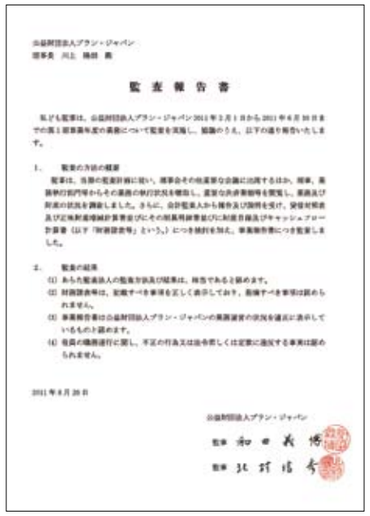
正味財産増減前年度・予算対比

（単位:1,000円）

			2010年度（注1）	2011年度 予算	2011年度 実績（注2）
増加額	収入（注3）	スポンサーシップ寄付金	2,502,549	2,450,000	2,357,827
		その他の寄付金	954,444	902,000	1,043,261
		受取補助金・事業収益	29,492	43,000	48,234
		受取利息・雑収益等	8,834	7,400	7,537
	計		3,495,319	3,402,400	3,456,859Ⓐ
減少額	事業費	海外	2,734,072	2,621,000	2,580,551
		東日本大震災	0	0	52,209
		その他国内	604,155	664,764	600,449
	管理費		106,205	116,125	118,666
	計		3,444,432	3,401,889	3,351,875
評価損益			3,144	0	△ 2,120
当期正味財産増減			54,031	511	102,864
期首正味財産残高			1,209,320	1,208,119	1,263,351
期末正味財産残高			1,263,351	1,208,630	1,366,215

注1）2010年度実績値は、新法人移行後の新しい会計方針に読み替えた参考値
注2）2011年度実績値は、2010年7月から2011年1月までの旧法人の決算値を、公益法人移行後に採用している会計方針に読み替えた値と、2011年2月から2011年6月までの決算値を合算した参考値
注3）収入とは、正味財産増減計算書の指定正味財産増減の部の基本財産運用益、受取寄付金、受取補助金等および特定資産運用益と、一般正味財産増減の部の事業収益および雑収益の和

監査報告書



公益財団法人プラン・ジャパン
理事長　川上　隆朗　殿

監　査　報　告　書

私ども監事は、公益財団法人プラン・ジャパンの2011年2月1日から2011年6月30日までの第1期事業年度の業務について監査を実施し、協議のうえ、以下の通り報告いたします。

1．　監査の方法の概要
監事は、当期の監査計画に従い、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事、業務執行部門等からその業務の執行状況を聴取し、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。さらに、会計監査人から報告及び説明を受け、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財務諸表及びキャッシュフロー計算書（以下「財務諸表等」という。）につき検討を加え、事業報告書につき監査しました。

2．　監査の結果
(1) あらた監査法人の監査方法及び結果は、相当であると認めます。
(2) 財務諸表等は、記載すべき事項を正しく表示しており、指摘すべき事項は認められません。
(3) 事業報告書は公益財団法人プラン・ジャパンの業務運営の状況を適正に表示しているものと認めます。
(4) 役員の職務遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事実は認められません。

2011年8月26日

公益財団法人プラン・ジャパン
監事　和田　義博
監事　北村　清香

※2011年1月期決算および6月期決算において、あらた監査法人と本財団監事から適正意見の監査報告を受けています。誌面の都合上、2011年6月期の監事監査報告書以外の報告書は掲載を割愛しています。他の監査報告書はプラン・ジャパンウェブサイトでご確認ください

プラン・ジャパン事業費一覧

この表は監査を受けておりません

（単位：円）

			プラン・スポンサーシップ	プラン・マンスリー・サポーター	プラン一般プロジェクト	プラン特別プロジェクト	補助金によるプロジェクト	緊急・復興支援	合計
活動国プロジェクト費用（プログラム実施費・協力事業費・JICA草の根技術協力事業費）									
アジア	バングラデシュ	地域開発支援プロジェクト	61,820,009						61,820,009
		ストリート・チルドレン		27,172,000					27,172,000
		衛生環境改善	278,815		1,180,400		31,490,495		32,949,710
		職業訓練				2,405,550			2,405,550
	カンボジア	地域開発支援プロジェクト	29,546,139						29,546,139
		保健所建設			7,318,452				7,318,452
		幼稚園建設				20,676,407			20,676,407
		学校建設				27,725,352			27,725,352
	中国	地域開発支援プロジェクト	50,400,630						50,400,630
		図書支給				150,000			150,000
		栄養改善				4,900,000			4,900,000
		学校建設				1,800,000			1,800,000
		学校食堂建設				2,298,800			2,298,800
	インド	地域開発支援プロジェクト	67,537,937						67,537,937
		子どもと女性を中心としたHIV予防とケア		20,997,600					20,997,600
		ムンバイ・スラム地区支援			725,336				725,336
		人身売買 /性的搾取にあった女の子たちのシェルター設置			11,783,492				11,783,492
	インドネシア	地域開発支援プロジェクト	34,001,293						34,001,293
		火山噴火/地震・津波						4,595,804	4,595,804
		衛生改善				4,900,000			4,900,000
		教育支援				6,662,130			6,662,130
	ラオス	地域開発支援プロジェクト	3,525,858						3,525,858
		幼稚園建設				3,640,520			3,640,520
	ネパール	地域開発支援プロジェクト	67,428,608						67,428,608
		働く子どもたち		23,844,400					23,844,400
		マイクロ・ファイナンス(小規模金融)			12,714,344				12,714,344
		母子保健				2,724,710			2,724,710
		給水設備改善				3,795,891			3,795,891
		学校建設				2,728,839			2,728,839
	パキスタン	地域開発支援プロジェクト	40,807,017						40,807,017
		家事使用人として働く女の子への教育・就業支援		8,150,400					8,150,400
		平和の担い手となる青少年の育成		8,317,600					8,317,600
		洪水						4,521,705	4,521,705
		学校建設				1,647,400			1,647,400
	フィリピン	地域開発支援プロジェクト	57,097,026						57,097,026
		職業訓練学校				100,000,000			100,000,000
		医療設備設置				4,900,000			4,900,000
		簡易保健所建設				2,672,841			2,672,841
		植林				4,297,609			4,297,609
		学校建設				26,665,239			26,665,239
	スリランカ	地域開発支援プロジェクト	48,487,374						48,487,374
		森林再生				2,948,700			2,948,700
	タイ	地域開発支援プロジェクト	28,753,505						28,753,505
		地域で取り組むHIV対策		7,988,000					7,988,000
		HIV/エイズ啓発				4,900,000			4,900,000
		学校建設				10,245,002			10,245,002
	ベトナム	地域開発支援プロジェクト	72,731,061						72,731,061
		小学校・幼稚園の改善			10,814,937				10,814,937
		女性支援				2,155,524			2,155,524
		図書支給				297,613			297,613
		学校建設				20,058,601			20,058,601
		幼稚園建設				9,124,500			9,124,500
		中部洪水被災者緊急支援					5,300,000		5,300,000
		衛生改善					2,692,000		2,692,000
	アジア地域統括事務所		25,889,763						25,889,763
中南米	ボリビア	地域開発支援プロジェクト	33,536,645						33,536,645
	ブラジル	地域開発支援プロジェクト	9,620,945						9,620,945
	コロンビア	地域開発支援プロジェクト	33,071,997						33,071,997
	ドミニカ共和国	地域開発支援プロジェクト	17,629,288						17,629,288
		学校建設				1,912,090			1,912,090
	エクアドル	地域開発支援プロジェクト	40,643,024						40,643,024
		働く子どもたち		9,085,600					9,085,600
		学校建設				1,641,911			1,641,911
	エルサルバドル	地域開発支援プロジェクト	29,600,804						29,600,804
	グアテマラ	地域開発支援プロジェクト	27,031,574						27,031,574
		熱帯暴風雨アガサ						3,196,684	3,196,684
		衛生的な学校建設			10,567,679				10,567,679
		学校建設				4,749,326			4,749,326

（単位：円）

			プラン・スポンサーシップ	プラン・マンスリー・サポーター	プラン一般プロジェクト	プラン特別プロジェクト	補助金によるプロジェクト	緊急・復興支援	合計
中南米	ハイチ	地域開発支援プロジェクト	9,456,951						9,456,951
		HIVとともに生きる女性へのマイクロ・ファイナンス(小規模金融)		23,160,800					23,160,800
		コレラ対策						7,725,893	7,725,893
		大地震						50,701	50,701
		学校建設				4,942,200			4,942,200
	ホンジュラス	地域開発支援プロジェクト	32,006,040						32,006,040
		学校改善			293,409				293,409
	ニカラグア	地域開発支援プロジェクト	21,537,796						21,537,796
	パラグアイ	地域開発支援プロジェクト	20,827,158						20,827,158
	ペルー	地域開発支援プロジェクト	23,970,365						23,970,365
	中南米地域統括事務所		13,760,817						13,760,817
東南アフリカ	エジプト	地域開発支援プロジェクト	41,845,642						41,845,642
		ストリート・チルドレン		20,887,200					20,887,200
	エチオピア	地域開発支援プロジェクト	25,500,969						25,500,969
		学校建設				14,700,000			14,700,000
	ケニア	地域開発支援プロジェクト	62,290,149						62,290,149
	マラウィ	地域開発支援プロジェクト	21,100,481						21,100,481
		井戸の修繕と掘削			11,889,206				11,889,206
	モザンビーク	エイズ孤児の保護とケア		9,051,200					9,051,200
	スーダン	地域開発支援プロジェクト	12,682,154						12,682,154
		国内避難民への保健医療サービスの提供と衛生環境		16,956,800					16,956,800
		予防接種支援			1,588,748				1,588,748
	タンザニア	地域開発支援プロジェクト	24,243,687						24,243,687
		乳幼児教育支援				5,656,813			5,656,813
		移動診療所				9,174,270			9,174,270
	ウガンダ	地域開発支援プロジェクト	40,123,712						40,123,712
		学校建設				4,536,741			4,536,741
	ザンビア	地域開発支援プロジェクト	12,955,476						12,955,476
	ジンバブエ	地域開発支援プロジェクト	39,522,403						39,522,403
		障がいのある子どもたち		12,546,400					12,546,400
	東南アフリカ統括事務所		12,901,474						12,901,474
西アフリカ	ベナン	地域開発支援プロジェクト	10,686,901						10,686,901
		栄養改善				2,724,445			2,724,445
	ブルキナファソ	地域開発支援プロジェクト	44,387,539						44,387,539
		子どもの人身売買防止		21,690,400					21,690,400
		学校修繕				4,545,380			4,545,380
	カメルーン	地域開発支援プロジェクト	15,333,380						15,333,380
		弱い立場にある子どもの支援と保護		20,638,400					20,638,400
		井戸建設と衛生知識普及			31,200				31,200
		移動診療所				8,295,000			8,295,000
	ガーナ	地域開発支援プロジェクト	21,647,125						21,647,125
		図書館建設				1,900,000			1,900,000
		学校建設				8,393,050			8,393,050
	ギニア	地域開発支援プロジェクト	26,238,940						26,238,940
		分娩室の修繕支援			12,754,985				12,754,985
	ギニアビサウ	地域開発支援プロジェクト	7,024,383						7,024,383
	リベリア	内戦後の教育復興		33,195,200					33,195,200
	マリ	地域開発支援プロジェクト	29,600,804						29,600,804
		学校建設				11,466,438			11,466,438
	ニジェール	地域開発支援プロジェクト	7,051,715						7,051,715
		食糧危機						7,065,781	7,065,781
	セネガル	地域開発支援プロジェクト	41,326,330						41,326,330
		植林とソーラーパネルによる環境保護			10,729,694				10,729,694
		学校建設				12,408,485			12,408,485
	シエラレオネ	地域開発支援プロジェクト	2,213,911						2,213,911
		内戦後の教育復興		49,933,600					49,933,600
	トーゴ	地域開発支援プロジェクト	26,211,607						26,211,607
		女の子によるラジオ放送			54,488				54,488
	西アフリカ地域統括事務所		10,666,930						10,666,930
	緊急復興支援基金積立額		4,016,995						4,016,995
	プラン・インターナショナル国際本部プログラム管理費		80,599,517						80,599,517
	プラン・インターナショナル国際本部管理費		71,998,445						71,998,445
	為替差損（益）		143,313,672						143,313,672
小計			1,736,482,780	313,615,600	92,446,370	371,367,377	39,482,495	27,156,568	2,580,551,190
東日本大震災復興支援プロジェクト実施費								52,209,159	52,209,159
国内運営費 広報費・事業関連費			496,928,715	64,056,400	19,131,700	5,988,875	8,751,890	5,591,050	600,448,630
国内運営費 管理費			83,341,023	14,345,000	3,979,654	14,528,278		2,471,900	118,665,855
合計			2,316,752,518	392,017,000	115,557,724	391,884,530	48,234,385	87,428,677	3,351,874,834

- **プラン・スポンサーシップ**：スポンサーシップ寄付金および、基本財産受取利息、受取利息の資金により実施しています
- **プラン一般プロジェクト**：プラン一般プロジェクトへの寄付金および、メモリアル・ファンド利息収益、メモリアル・ファンド取崩の資金により実施しています
- **プラン特別プロジェクト**：プラン特別プロジェクトへの寄付金および、メモリアル・ファンド取崩の資金により実施しています
- **補助金によるプロジェクト**：JICA草の根技術協力支援事業、ジャパン・プラットフォーム、ゆうちょ銀行国際ボランティア貯金より拠出された資金により実施しています

さまざまな形の企業支援

CSR活動の一環など、さまざまな形でいただいている企業支援。
数多くのご支援の中から、いくつかの企業の取り組みについてご紹介します。

イオン株式会社

ペットボトルキャップ回収キャンペーン

イオン株式会社では、2008年6月より「ペットボトルキャップで世界の子どもたちに笑顔を！！」キャンペーンを行っています。この取り組みは、店頭でペットボトルキャップを回収、リサイクル業者に売却した対価を途上国の子どもたちの支援に充てるというものです。開始から2011年8月までに集められたペットボトルキャップは、累計で約5億1,923万個に上っています。2009年は、プラン・ジャパンを通じてタイで約5,400人の子どもたちに教室備品、学用品などを支給。今年は、ベトナムのクアンチ省ダクロン県の3つのコミューンで、4歳から11歳の800人の子どもたちに図書と学用品の支給をご支援いただきました。図書の贈呈式にはイオングループ社員が出席、子どもたちとの交流を深めました。

ベトナムでの図書支給時の様子

株式会社ベネッセコーポレーション

会員のポイント寄付でガオ村支援

「これからの子どもたちに必要な“未来を生き抜く力は何か”」を常に考えながら、通信教育サービス事業を展開されているベネッセコーポレーション。この方針のもと、2011年4月から「進研ゼミ小学講座」で会員参加型の支援を行っています。これは、会員が「がんばりシール／努力賞ポイント」を16枚集めて「ガオ村チャリティー」に申し込むと、ガオ村スクール・スポンサーシップに参加できる仕組みです。またポイントを寄付するだけでなく、特設サイト「ガオ村チャリティーWEB」を通じて、支援対象の子どもの生活環境を知れたり、メッセージを送ることができるなど、理解を深められる工夫もされています。この取り組みが子どもたちにとって、さまざまなことに興味を持つきっかけとなり、「“もっともっといい未来”をつくる主人公」になりたいと思えるようになって欲しいとの願いが込められています。

特設ウェブサイト「ガオ村チャリティーWEB」

住友化学株式会社

オリセット®ネットでアフリカの未来を支援

住友化学ではCSRを、「単なるチャリティではなく、会社の事業活動を通じて豊かな社会の実現に貢献すること」ととらえ、積極的に事業を通じたCSR活動に取り組まれています。その1つの例が「オリセット®ネット」によるアフリカの子どもたちへの支援。オリセット®ネットは防虫成分を練りこんだ蚊帳で、2003年よりタンザニアでも生産が開始されました。現地の雇用を創出するとともに、蚊帳の使用でマラリアを媒介する蚊を防いで、安心して生活できる環境を提供。さらに売上の一部により、学校建設などの教育支援活動も展開しています。プラン・ジャパンを通じた取り組みでは、2010年11月よりマリとガーナにおいて学校建設プロジェクトをご支援いただきました。プロジェクトを通じて、教室や図書室の建設、給水設備やトイレの設置、備品や図書の支給などが行われ、子どもたちの基礎学力の向上、健康状態の改善に貢献しています。

マリで建設中の教室の様子

第一三共株式会社

移動診療サービスプロジェクトを通じ、MDGs達成に貢献

第一三共グループは、「国際的視野での医療アクセス拡大」をCSR中期方針の重要課題の1つに掲げ、MDGs(国連ミレニアム開発目標)の達成に向けた貢献活動に取り組んでいます。2011年からは、世界の中でも特に乳幼児・妊産婦死亡率の高いタンザニア、カメルーンにおける移動診療サービスプロジェクトをご支援いただいています。両国におけるプランの活動地域では、遠隔地での医療保健サービスが行き届いておらず、予防接種や乳幼児健診を受けていない子どもたちが多く存在しています。また、マラリア予防に対する認識も不足している状況です。プロジェクトでは、保健員へのトレーニングの実施、母親や地域住民への意識啓発活動、移動診療用車両を用いた予防接種促進と妊婦の産前ケアなどを行い、一人でも多くの子どもと母親が基礎保健サービスを受けられることを目指しています。

ビタミン剤の投与を待つ母親たち(カメルーン)

全国にある「プラン支援者の会」

日本全国各地で、支援者の皆さまが任意で活動を行うプラン支援者の会。支援者相互の交流や途上国を知る学びの場であり、途上国支援の輪を広げようとそれぞれユニークな活動を展開しています。ぜひお近くの会にご参加ください。

各会の活動内容や頻度については下記のアイコンをご確認ください

- チャイルド宛の手紙書き
- 外国の料理を楽しむ・作る
- プラン職員や外部講師の話を聞く
- アウトドア（ハイキング、遠足など）
- EVENT 地域での広報・開発教育活動（バザー、国際協力イベント参加など）
- ウェブサイトの有無
- 5 1年間の平均開催回数

のあるところのみ、プラン・ジャパンウェブサイトから活動報告を確認したり、各会のホームページにリンクすることができます。「支援者の方へ」から「プラン支援者の会」のページをご覧ください。

お問合わせ：支援者サポート部
TEL 03-5481-6100 Mail：p-kai@plan-japan.org

北海道・東北

プラン旭川の会　連絡先：山岡
yukayuka1995@yahoo.co.jp
携帯 090-5071-4196
5

プラン・札幌の会　連絡先：西崎
i-nisitaka@softbank.ne.jp
携帯 080-4500-0525
7

プラン岩手の会　連絡先：福士
TEL&FAX 019-638-4158
1

庄内・羽後プランの会　連絡先：岩谷
tadaya-i@chive.ocn.ne.jp
TEL&FAX 0184-46-2018
3

プラン宮城の会　連絡先：後藤
mfp@alive-one.com
TEL&FAX 022-303-1273
EVENT 2

関東甲信越

プラン長岡近郊の会　連絡先：熊倉
n-kumakura@nifty.com
TEL 0258-39-8956
2

FP信濃の会　連絡先：小笠原
malwessa-sri-iyuki@hotmail.co.jp
活動休止中

プラン群馬の会　連絡先：星野
kaoru_hoshino@hotmail.com
TEL&FAX 027-234-8180
（電話は日中希望）
EVENT 2

つくばFP会　連絡先：高橋
ncd00117@ba.mbn.or.jp
TEL 029-896-5546
EVENT 3

ぷらん・熊谷交流会　連絡先：中澤
kaze.dream@dream.com
EVENT 3

プラン浦和の会　連絡先：保田
plan-urawa@ngo-npo.net
TEL 048-853-7572
EVENT 5

プラン千葉　連絡先：前田
e_maeda@yellow.plala.or.jp
EVENT 3

プラン東京の会　連絡先：佐藤
hideru.sato@nifty.ne.jp
携帯 090-2549-4982
2

プラン町田の会　連絡先：河上
monfamily2003@yahoo.co.jp
TEL&FAX 042-720-4452
EVENT 4

多摩SP会　連絡先：世話人
tama-web3@ngo-npo.org
2

東海

沼津FPの会　連絡先：山田
TEL 055-925-8750
FAX 055-925-8752
EVENT 1

プラン静岡市周辺の会　連絡先：坂本
sama1125@hotmail.com
EVENT 3

プラン岐阜の会　連絡先：伊藤
ito-fp@octn.jp
TEL&FAX 0584-53-0718
2

プラン尾張の会　連絡先：秦野
bikke_feld@ybb.ne.jp
TEL&FAX 0586-72-5433
EVENT 1

プラン名古屋の会　連絡先：安藤
info@plan-nagoya.sakura.ne.jp
TEL 052-412-0952
EVENT 8

FP津市周辺の会　連絡先：奈良
kayoko.fp@ztv.ne.jp
TEL&FAX 059-225-0588
EVENT 2

近畿・北陸

プラン富山の会　連絡先：水野
eaukazu@gmail.com
2

プランうららの会（福井）
連絡先：松嶺
mirika_m@hotmail.com
携帯 080-6358-0746
2

プランびわ湖　連絡先：川崎
unbelong@zeus.eonet.ne.jp
EVENT 2

プラン・京都　連絡先：志賀
tshiga@mbox.kyoto-inet.or.jp
TEL&FAX 075-493-2405
EVENT 5

プラン八尾市周辺の会　連絡先：池上
fwhp1320@mb.infoweb.ne.jp
2

池田市周辺FP会　連絡先：西村
nishiden24@nifty.com
FAX 072-750-3398
2

プランなにわ交流会　連絡先：山室
o・ce@naniwa-fp.com
TEL&FAX 0726-61-9654
EVENT 4

プラン・奈良の会　連絡先：富山
fp-nara@tea.ocn.ne.jp
4

兵庫ペアレント会　連絡先：山村
plan-hyogo@ngo-npo.net
TEL&FAX 078-231-8551
EVENT 5

中国・四国

プラン岡山の会　連絡先：直江
plaoka0625@yahoo.co.jp
FAX 086-252-1302
EVENT 4

プラン広島の会　連絡先：小村
naokom@ms2.megaegg.ne.jp
3

福山プランの会　連絡先：平橋
littlewing2000@ric.hi-ho.ne.jp
1

プラン山陰の会　連絡先：岡川
leafmoon804@yahoo.co.jp
FAX 0858-72-1887
EVENT 3

プラン高知　連絡先：西森・西岡
西森　kate@kxe.biglobe.ne.jp
西岡　FAX 088-872-9707
1

九州・沖縄

北九州FP会　連絡先：成重
rwsbd076@yahoo.co.jp
携帯 080-5607-2677
5

プラン福岡交流会　連絡先：平田
nihongo822@hotmail.com
TEL&FAX 092-801-2974
EVENT 2

佐賀ペアレントの会　連絡先：二宮
gingo@cableone.ne.jp
TEL&FAX 0952-86-2543
1

プラン・長崎ペアレントの会
連絡先：深堀
plan.nagasaki@hotmail.co.jp
TEL 095-845-8021
FAX 095-844-6930
1

プラン大分の会　連絡先：阿南
feel.happy.for.happiness@gmail.com
4

プラン美ら島　連絡先：押鐘
oshikane@chopin.jp
TEL 050-7505-7152
EVENT 2

その他

FPスリランカの会　連絡先：池本
ikemotom@zj8.so-net.ne.jp
EVENT 1

※敬称略

※「プラン岩手の会」は2011年12月をもって活動を終了しました

2011年度
プラン・ジャパン
年次報告書

Annual Report 2011
2010/7～2011/6

VISION プランの目標

人々の権利と尊厳が守られ、すべての子どもたちが能力を
最大限に発揮できる世界を実現する

MISSION プランの使命

1. 子ども、家族、地域の人々が、人間としての基本的な生活条件を備え、社会活動に参加し、自立を達成できるよう支援する
2. 異なる国籍や文化を持つ人々の相互理解を深め、皆が協力できる関係を築く
3. 世界中の子どもたちの権利と利益の確立を図る

STRATEGIC DIRECTION プランの活動方針

1. 子どもたちとともに途上国の地域開発を進める
2. 貧困に苦しむ子どもたちを長期にわたり支援する
3. できるかぎり多くの子どもを支援する
4. 「子どもの権利」を守るため、世界中の人々をつなげる
5. 問題解決に向けて、政府や関連機関と協力・連携する
6. 子どもたちの声を発信する

公益財団法人プラン・ジャパン

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22
サンタワーズセンタービル10F
TEL 03-5481-6100 FAX 03-5481-6200
（業務時間/土・日・祝日を除く9:00～17:30）
service@plan-japan.org
www.plan-japan.org

この冊子は1冊あたり約31円で製作されています

Accountability
Self-Check 2008

これは、JANICの「アカウンタビリティ・セルフチェック2008」マークです。JANICのアカウンタビリティ基準の4分野（組織運営・事業実施・会計・情報公開）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

子どもと築く、未来のしくみ

Plan
プラン・ジャパン